

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）令和4年度報告書

著者名	東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
雑誌名	文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）令和4年度報告書
発行年	2022
URL	http://doi.org/10.20780/00033467

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)

令和4年度報告書

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター



Your Attention to Your Own Innovation!

はじめに



東京女子医科大学 解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授
同 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長
本多 祥子

このたび令和3年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に選定され、現在、全学体制で「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の様々な取組みを実施しております。平素より多大なご理解とご尽力をいただいております関係者の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この事業は、本学の学祖吉岡彌生先生をはじめ偉大な諸先輩方の弛まぬ努力、さらに本学が120年以上にわたり培ってきた女性医療人活躍推進の精神的基盤があって、はじめて成り立っているものと考えております。この貴重な背景を十分に活かし、将来グローバルヘルスリーダーとして国際社会と連携し社会問題解決を目指す「彌生人（やよいびと）」を育てるための苗床として、本学は今後、日本に唯一の女子医科大学としての重要な役割を担っていくこととなります。「Your Attention to Your Own Innovation !」をスローガンに、「YAYOI プロジェクト」に関わるひとりひとりが自身をイノベート（＝常に自分自身を変え成長させていくこと）する端緒を切り開くことを強く祈念いたします。

よく誤解されるのですが、この事業は女性医師のみを支援対象としているわけではありません。いわゆる non-MD の研究者、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、放射線技師・・・などなど本学に欠かせない様々な職種の教職員の方、ただし「研究意欲を持つ方」が対象です。「研究は続けたいけれど、業務やライフイベントに紛れて研究への熱意がだんだん薄れていってしまう」と悩んでおられる方を、是非「YAYOI プロジェクト」で支援させていただきたいと思っております。

また、様々な分野で優れた研究活動を継続されている女性研究者にスポットライトをあてることで、上位職へのステップアップをお手伝いする活動も実施しております。例えば「YAYOI プロジェクト」で実施する「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」等の研究支援を通じて、広い視野から自身の研究の立ち位置を理解するための機会と、より新しいステップへ到達するための手段を、実質的に獲得していただけます。さらに男性医師・研究者の皆様を含めて育児や介護などのライフイベントを様々な角度から実践的に支援することにより、幅広い視点で女性医療人の活躍推進を応援します。

本学ならではの「YAYOI プロジェクト」が実質的に定着できるよう、新たな支援事業・イベントを含めこれからも精力的に推進して参りますので、今後の情報展開や活動報告に是非ご注目ください。皆様からのご意見、ご要望のお声も心からお待ちしております。

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事長
岩本 絹子

令和 3(2021)年度に採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の『令和 4 年度 報告書』が完成いたしました。

この度、文部科学省による令和 3 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の補助金交付事業として、本学の女性医療人キャリア形成センターによる『グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOI プロジェクト」』が採択され、女性医療人キャリア形成センター長である肥塚常務理事はじめ関係各位の皆様方のご尽力により、「YAYOI プロジェクト」が始動し、2 年目を迎えております。

本学は、平成 28(2016)年から、文部科学省における女性研究者関連施策において、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されており、その成果をご評価いただいたことで、今回の「先端型」での採択に繋がっております。従前よりも更に高い目標を掲げ、女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用のより一層の推進を踏まえた、先端的な取り組みが望まれております。本学の建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と、本学の理念である「至誠と愛」を実践し、広く国際社会でリーダーシップを発揮し、社会貢献に尽力することができ、そして、後進の育成を通じて、本学の理念「至誠と愛」を次世代に継承できる女性指導者「彌生人(やよいびと)」を育成してまいります。そして、女性指導者育成の基盤作りを、オール女子医大で構築することを期待しております。

本学は、令和 4(2022)年 12 月 5 日に創立 122 周年を迎えており、この「YAYOI プロジェクト」の活動を機に、本当の意味での女性活躍の代表的役割を、本学が担っていくことを願っております。

結びになりますが、本学における本事業の成果が実り多きものとなり、女性医療人による社会貢献そして生涯を通じて活躍し続けることのできる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学 学長
丸 義朗

採択させていただきました本プログラムにおける本学の課題名は、本学の創始者である吉岡彌生先生のお名前を冠した「YAYOI プロジェクト」であります。従いまして、提案した計画を忠実に実施することの他に、あらゆる点で本学の建学の精神と理念に則っているかどうか、自問自答しながら進めていかねばなりません。自立した女性医療人を保証することの一つがリーダー的存在です。卒業生調査はまだ十分とは言えませんが、多くの卒業生が社会に出て上位職で活躍していることは事実です。それを今以上に量も質も拡大するためには、大学における教授陣営に女性の持ち味が発揮されねばなりません。なぜなら本来の教授はリーダーに属するからであります。本学は教授の女性比率の30%をほぼ達成しました。これからが本当の勝負です。教授と一言で言ってもそのレベルに差があることは否めません。この30%女性教授の質的レベルの検証は、教授評価で実践していきます。また、この取り組みが、卒業生がリーダーとなれるような教育を実践する上で役に立っているかどうかを検証しなければなりません。その上で、この30%を維持するために、十分な吟味のもと、准教授や講師などの職位にも女性登用を促進します。女性教授候補となれる人材の発掘がそのミッションとなります。そして、その女性教員が力を発揮できる新しい背景の一つとして、情報技術を駆使した研究領域や活動があります。これを成功させるために、子育て支援が必須であることは言うまでもありません。保育施設などはその代表例です。本学のこの取り組みが他機関の良き手本となれるよう、協力してまいります。これにて私の挨拶とさせていただきます。



学校法人 東京女子医科大学 常務理事・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター センター長
肥塚 直美

本学は令和 3(2021)年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』の取り組みを開始いたしました。『YAYOI プロジェクト』の“YAYOI”は“Your Attention to Your Own Innovation”であり、本学の学祖吉岡彌生先生のお名前を冠したものです。この先端型の選定にあたりましては、平成 28(2016)年度より行ってまいりました特色型(令和 3(2021)年度が最終年度)の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととされております。

本年度も YAYOI プロジェクトで柱となる架け橋研究、国際交流、AI 研究を中心として、理事長・学長先生の強いリーダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターを中心に全学をあげて精力的に取り組んできました。この取り組みの成果を報告書としてまとめることができたことを大変嬉しく思います。本年度の成果をふまえて、次年度に向けさらに邁進してまいります。

本学は、『医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する』という建学の精神と『至誠と愛』の教育理念のもと、最良の医療を実践する知識・技能を修め、高い人格を陶冶した医人を育成し、将来の医療に貢献することを目指しております。本事業をさらに推し進めて、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。



東京女子医科大学 特任教授・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター 副センター長
齋藤 加代子

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の2年目の事業を実施いたしました。本事業は、「特色型」において定めた「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」の3つの柱をより太く強固なものとする使命を有しています。すなわち、先端型の特徴の「研究力向上・リーダー育成」に関する3つの先端的取組「架け橋研究」「バーチャル研究交流・国際交流」「AI研究インターンシップ制度」により女性研究者の実力をつけて、「教授30%、准教授35%、講師40%」を達成するストラテジーであります。令和4(2022)年度の募集を行い多くの応募を頂きました。厳正な書類審査とWEB面接により、「架け橋研究支援」は5名、「国際共同研究支援」3名、「AI研究スタートアップ支援」4名が採択されました。採択者は皆、期待に応じて研究を遂行しておられ、本学における女性研究者の底力を感じるところです。

7月30日には、Zoomウェビナー「ダイバーシティ環境整備事業報告会」が開催され、特別講演として宮浦千里先生(中部大学 総長補佐・特任教授)に「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」のご講演をいただきました。令和4(2022)年度からの新たなプログラムとしては、「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」が挙げられます。優れた指導者(メンター)の指導により女性研究者(メンティ)が筆頭著者にて高インパクトファクターの雑誌に論文掲載できた4組が受賞し、11月2日に授与式を行いました。

育児・介護等のセーフティネットの充実、研究環境整備を行い、「至誠と愛」の理念の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮する女性を育成する本プロジェクトの成功は、まさに本学の建学の精神「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」の具現・実践であります。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」を通して、本学の多様な人材が最大限の能力を発揮することを願っております。

目次

はじめに	1
ごあいさつ	2
I 事業概要	7
目標	7
本事業のための体制整備	8
実施概要	9
事業計画	12
取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載）	18
令和 4(2022)年度活動年表	19
令和 3 年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会の実施	22
● 令和 3 年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会チラシ・プログラム	24
● 「先端型」事業紹介スライド（本多祥子室長）	25
II 事業報告① - 上位職への積極登用 -	33
女性教授割合の拡大状況	33
女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進	33
学長指名推薦による女性教授登用	36
オープンイノベーション講演会・交流会の実施	37
● 上位職への積極登用の取組 リーフレット	39
III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -	41
本学の研究力向上状況	41
基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援	41
バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化	44
保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築	48
科研費申請支援	51
● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット	52
IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -	56
本学の研究環境整備状況	56
学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備	56
実践的介護支援体制の構築	57
研究支援員制度における対象者範囲の拡大	59
● 「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」ハンドブック	60
● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット	67
その他の活動	70
お問い合わせ先一覧	71

Ⅰ 事業概要

目標

本学は、明治 33(1900)年に女性医療人（医師・看護師）育成と自立の精神に基づき設立された国内唯一の女子医科大学として、これまで様々な取組を行ってきました。平成 18(2006)年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、病児保育と短時間勤務制度の創設によって優れた女性研究者の研究継続支援を実施しました。事業終了後も、男女共同参画推進局（現在の女性医療人キャリア形成センター）を設置し、院内保育所に加え本学独自のファミリーサポートシステムによるきめ細やかな育児支援、また短時間勤務制度を育児期のみならず自己研鑽にも活用できる制度として創設し勤務環境改善に努めてまいりました。しかしその一方で平成 27(2015)年時点の本学女性教授比率は 124 名中 25 名（20%）と少なく、キャリアを積んだ女性研究者が上位職で十分に活躍できる大学となるためには、さらに全学的な支援体制と強力な取組が必須と考えられました。そこで平成 28(2016)年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、女性医療人キャリア形成センターに新設したダイバーシティ環境整備事業推進室が中心となり、女性教授比率を 30%に引き上げるための女性上位職登用支援、女性研究者のための研究環境整備、女性教職員数の多い部署での勤務環境改善を実施し、令和 2(2020)年 7 月には特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成いたしました。

そして令和 3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』を発足いたしました。6 年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」のフレームに、先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標としております。

- ・女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- ・新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- ・女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- ・介護支援の充実をはかる

わが国唯一の女子医科大学として女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人に対し発展的な研究継続を支援し、グローバルヘルスリーダーへの強いモチベーションを持つ女性人材（「彌生人（やよいびと）」と呼称）を育成することで、医学研究・医療への貢献するとともに、将来有望な女性医療人の上位職登用のチャンスを加速させ、女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進して参ります。



Your Attention to Your Own Innovation !

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

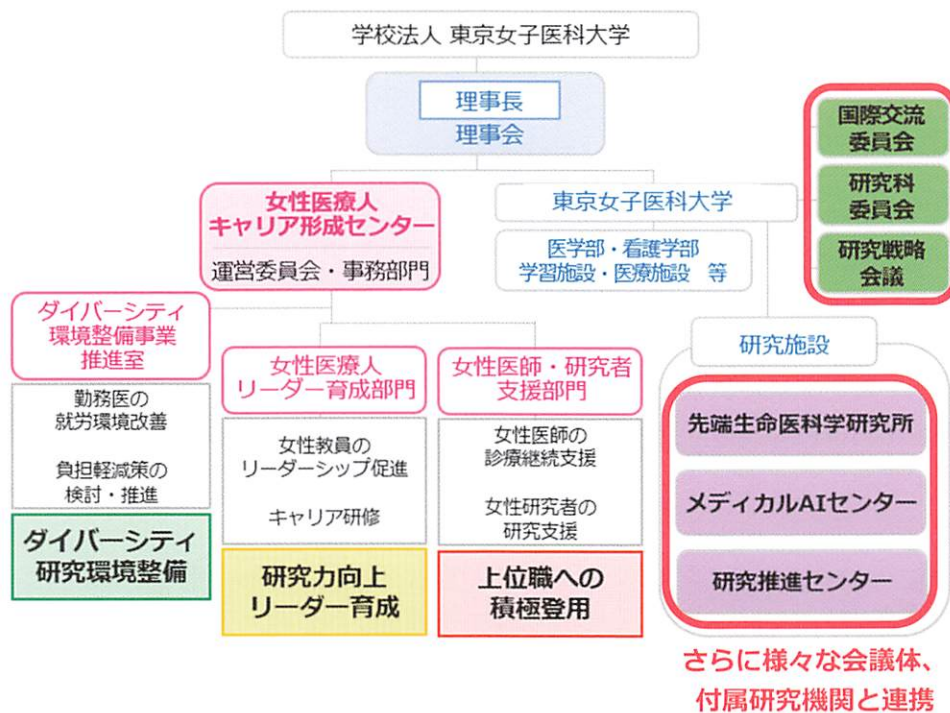


本事業のための体制整備

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担います。事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行います。

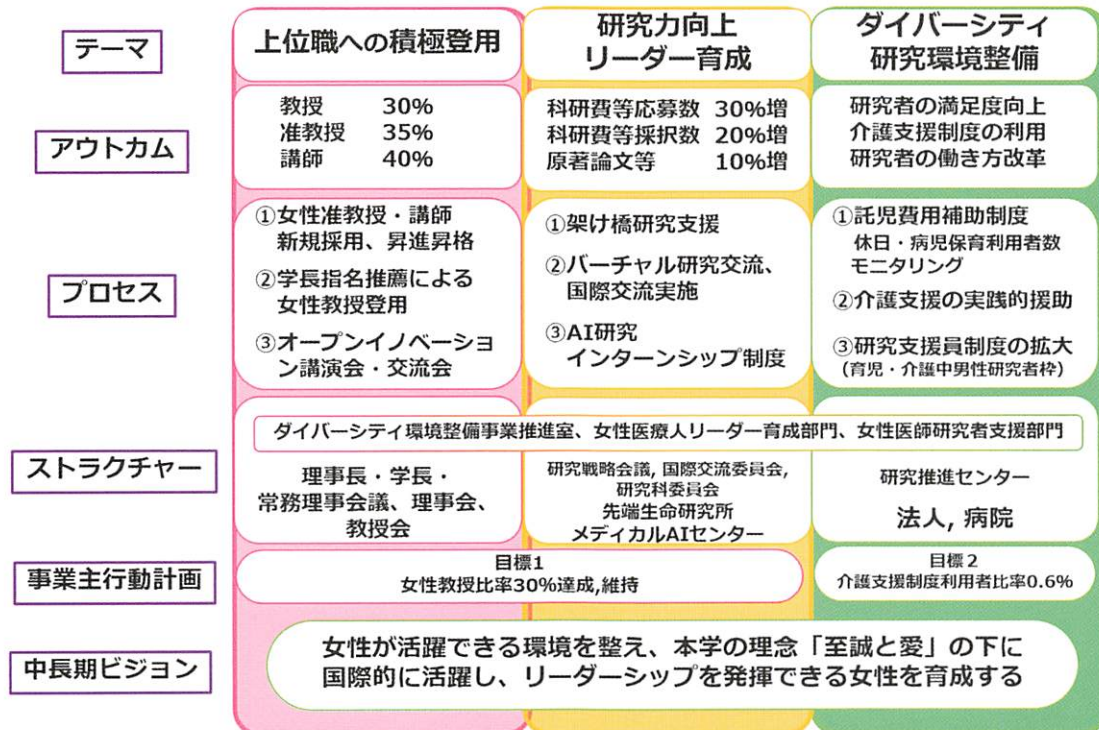
女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当します。

「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図ります。



実施概要

上位職への女性の積極登用 (=1)、そのための研究力向上とリーダー育成 (=2)、およびこれらを支えるダイバーシティ研究環境整備 (=3) の3つのテーマについて、6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」のフレームに更なる先端的取組を追加し、それぞれ事業主行動計画、ストラクチャー、プロセス、アウトカムを明確に設定しました (下図参照)。



(1) 上位職への積極登用の取組

①女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進：33 ページ

- ・次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)の裾野を広げるため、学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施
- ・現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※)for 彌生人 (やよいびと)」の開催
※教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞き意見交換を行う場
- ・女性研究者＝メンティが高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンターと当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人 (やよいびと) メンター・メンティ賞」を設立

②学長指名推薦による女性教授登用：36 ページ

- ・学内外の優れた実績をもつ女性教職員を学長指名推薦により女性教授として登用

③オープンイノベーション講演会・交流会：37 ページ

- ・本学先端生命医科学研究所「バイオメディカル・カリキュラム」と連携し、医・工・理の架け橋研究等を紹介する「オープンイノベーション講演会」、新たな研究希望者と既に研究進行中の者

とのマッチングの場「オープンイノベーション交流会」の企画・開催

(2) 研究力向上・リーダー育成の取組

①基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援：41 ページ

- ・「架け橋研究支援」制度の実施
- ・架け橋研究を推進する「架け橋研究指導者」と新たに架け橋研究を希望する者との意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の実施
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

②バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化：44 ページ

- ・「国際共同研究支援」制度の実施
- ・国際共同研究を推進する「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助制度の実施
- ・国際共同研究用デジタルプラットフォームを活用した国際研究講演会・交流会の開催
- ・アバターロボットを用いた臨場感のある研究交流の実施
- ・国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援
- ・女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール (Slack) の活用
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

③保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築：48 ページ

- ・「AI 研究スタートアップ支援」制度の実施
- ・AI 研究を推進する「AI 研究指導者」がメンターとなり、新たに AI 研究開始を希望する者に対する「AI インターンシップ」の実施
- ・AI 講習会、研修会 参加費補助制度の実施
- ・AI 講演会、AI 演習会、AI 相談会の開催
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

④科研費申請支援関連：51 ページ

- ・科研費採択率向上のための申請書レビューの実施
- ・科研費セミナーの開催

(3) ダイバーシティ研究環境整備の取組

①学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備：56 ページ

- ・学会等参加時の託児費補助制度の実施
- ・院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりの安全性検証および利用者数のモニタリングの実施

②実践的介護支援体制の構築：57 ページ

- ・介護見守り支援（ちょこっと介護見守り支援）の開始
- ・介護支援ハンドブックの作成
- ・介護支援に取り組む施設への視察
- ・介護講演会の開催

③研究支援員制度における対象者範囲の拡大：59 ページ

- ・平成 28(2016)年度（特色型）事業で構築した女性研究者対象の「研究支援員制度(※)」への育児中/介護中男性研究者枠の新設

※応募条件を満たす本学医学部の女性医学研究者が、研究活動上必要な補助業務を行う際に「研究支援員」を 1 名採用できる制度(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

以上のダイバーシティ研究環境整備事業の様々な取組は、女性医師・研究者のみならず全教職員・学生も対象としています。今後もさらに個別の状況に合わせた多角的かつ適切な支援を実施し、広く社会に役立つモデルを構築していきます。

事業計画

調書2

(別紙)

事業計画書

I. 補助事業の内容

1. 補助事業の名称

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

2. 機関名

学校法人 東京女子医科大学

3. 補助事業の目的

①上位職登用（女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進、学長指名推薦による女性教授登用、オープンイノベーション講演会・交流会）、②研究力向上・リーダー育成（基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援、バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化、保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築）、③ダイバーシティ研究環境整備（実践的介護援助体制の構築、研究支援員制度における対象者範囲の拡大）を通じて、以下を達成することを本事業の目的とする。

- 女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- 介護支援の充実をはかる

4. 本年度の事業の項目及び内容

○取組期間における研究者在職者数、女性在职比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性在职 比率
令和2年5月 1日(実績)	1,735(826)	164 (64)	120 (30)	133 (38)	45%
令和3年度	1,697(815)	152 (60)	123 (30)	128 (37)	45%
令和4年度	1,746(838)	154 (60)	120 (30)	130 (38)	45%
令和5年度	1,738(844)	162 (63)	120 (32)	130 (39)	45%
令和6年度	1,737(844)	161 (63)	120 (32)	132 (39)	45%
令和7年度	1,737(844)	161 (63)	120 (32)	132 (39)	45%
令和8年度	1,735(826)	164 (66)	124 (43)	132 (40)	45%

○取組期間における研究者採用者数、女性採用比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性採用 比率
令和2年5月 1日(実績)	184 (86)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46.1%
令和3年度	188 (90)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46%
令和4年度	204 (97)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46%
令和5年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和6年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和7年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和8年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%

(1) 本事業推進のための体制整備

- ・「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業を円滑に進めるために、各施策推進の司令塔としての役割を担っている「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が引き続きその任を担う。本事業の各取組についての具体的審議は「ダイバーシティ担当推進者会議」で行う。「ダイバーシティ担当推進者会議」で採択された重要事項については女性医療人キャリア形成センターを通じ、理事会での審議決定を必要とする。

女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当する。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図る。

(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進（上位職登用）

- ・次世代の女性教授候補者層（准教授、講師）を厚くし裾野を広げるため、医師以外の学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な「個別アドバイス（キャリア面談）」を行うためのメンター（准教授、講師）の募集および登録を行い、「個別アドバイス（キャリア面談）」を実施する。
- ・現准教授・講師をロールモデルとした「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」実施における講師登録（准教授、講師）を行い、「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」を開催する。
- ・優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MDを含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった女性研究者＝メンター（医師・看護師・non-MDを含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立する。受賞者には、研究助成を行うことで、更なる研究力向上の機運を高めてもらうことを狙いとする。また、これを受賞したメンター、メンティそれぞれを学長指名推薦候補者とする事で、上位職登用の裾野を拡大する。架け橋研究、国際共同研究、AI研究の各分野のみならず、広く臨床医学系、

基礎医学系、看護系を対象として学内全体から募集し表彰する。

(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）

- ・国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者を含む）を教員評価制度の公平な評価結果や国際活躍業績に基づき学長指名推薦により女性教授として登用していく。女性登用実績の評価方法等も十分検討され既に体制は整っており、候補者があれば適宜推薦を実施する。

- ・前述の「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を受賞したメンターが准教授の場合、学長指名推薦候補者とする事で、上位職登用促進を図る。

(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）

- ・女性研究者の研究マインドの醸成を図り、異分野融合研究の活性化を目指すための講演会、交流会を開催する。

講演会では、①国内外で著名な研究者（男女問わず）、②本学先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」修了生、③本学の女性研究者で優秀なもの（架け橋研究支援 修了生含む）を講師とする。また講師と参加者による交流会を開催する。

- ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。

(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）

- ・第2回「架け橋研究支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。

- ・基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ医・工・理の架け橋研究を推進する架け橋研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「架け橋研究支援」採択者）と新たに架け橋研究を希望する者とが相互に意見交換ができる場「架け橋研究紹介ツアー」を実施する。

- ・令和3年度 第1回「架け橋研究支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。

- ・「架け橋研究支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。

(6) バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）

- ・第2回「国際共同研究支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。

- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者および国際研究支援を受けた女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助を行う。

- ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。

- ・バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化の研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「国際共同研究支援」採択者）と新たに国際共同研究を希望する者とのマッチングを行い、オンライン・リアルでの相談会を開催する。

- ・海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームなどを活用した国際研究講演会・交流会を開催する。
- ・学外（海外を含む）と学内の研究者間でアバターロボットを用いた、臨場感のある研究交流を実施する。
- ・令和3年度 第1回「国際共同研究支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。
- ・「国際共同研究支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。

(7) 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）

- ・第2回「AI研究スタートアップ支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。
- ・学内女性研究者が外部で開催されているAI講習会、研修会に参加する場合に参加費を支援する。
- ・スタージェン社への委託により、学内にてAI講演会、AI演習会、AI相談会を開催する。
- ・保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築の研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「AI研究スタートアップ支援」採択者）がメンターとなり、新たにAI研究開始を希望する学内女性研究者に対し、「AIインターンシップ」を実施する。
- ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。
- ・令和3年度 第1回「AI研究スタートアップ支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。
- ・「AI研究スタートアップ支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。

(8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）

- ・女性研究者に対し、学会参加時の託児費補助を実施し、継続した研究環境を支援する。
- ・やよい保育園（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりを安全に実施していることの検証および利用者数のモニタリングを引き続き実施する。

(9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）

- ・特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロに委託し、介護見守り支援サービス（ちょっと介護見守り支援）を開始する。

- ・ 本学教職員を対象として実施した、「介護現状調査アンケート」の結果を論文とし、広く結果を公表する。
- ・ 「介護現状調査アンケート」結果を受けて、介護支援ハンドブックを作成し、介護に関する知識の周知を目指す。
- ・ 先駆的に介護支援に取り組む施設への視察を行う。
- ・ 介護経験者による「座談会」を開催し、より介護を身近に感じる機会を提供する。

(10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）

- ・ 育児中または介護中の女性研究者および優れた研究業績を有する将来有望な女性研究者を対象に実施している研究支援員制度をさらに拡大し、育児中または介護中の男性研究者1名の支援を行う。
- ・ 本事業については、自主経費で実施する。

(11) 科研費申請支援関連（研究力向上・リーダー育成）

- ・ 科研費採択率向上のため、申請に際しての支援として講演会ならびに申請書添削を提供する。

5. 補助事業期間

- ・ 補助事業の完了（予定）日 令和5年3月31日

II. 補助事業の実施体制

※「I. 4. 本年度の事業の項目及び内容」と対応。

事業項目	実施場所	担当責任者
(1) 本事業推進のための体制整備	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人 キャリア形成センター長 肥塚 直美
(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人 キャリア形成センター長 肥塚 直美
(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医学研究所 所長・教授 清水 達也
(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医学研究所 所長・教授 清水 達也
(6) パーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座顕微解剖学・ 形態形成学分野 教授・基幹分野長 石津 綾子
(7) 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医学研究所 教授 正宗 賢
(8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	衛生学公衆衛生学講座 公衆衛生学分野 教授・基幹分野長 野原 理子
(9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	臨床検査科 教授 佐藤 麻子
(11) 科研費申請支援関連業務（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子

取組概要 (ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載)

東京女子医科大学 (先端型)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：R3年～R8年

【特長】 Your Attention to Your Own Innovation !

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を進展させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

【実施体制】

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担い、事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行う。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が女性医療人キャリア形成センターの各部門、学内委員会、研究施設と密に連携し各事業の確実な進捗を図る。

さらに様々な会議体、付属研究機関と連携

【取組概要(目標)】

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの元、学長指名推薦による准教授・講師の昇進昇格、採用を促進、優れた女性研究者を発掘する。
2. 研究力向上とリーダー育成：オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究スタートアップ支援により女性研究者の研究参画を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンラインを含む学会等参加時の託児費補助制度、実践的介護支援を新設する。研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者に拡大する。

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持		目標2 介護支援制度利用率0.6%
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

【支援内容】 研究力向上とリーダー育成の取り組みとして女性研究者を支援します

上位職への積極登用

- ① 女性准教授・講師新規採用、昇進昇格
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会

研究力向上 リーダー育成

- ① 架け橋研究支援
- ② バーチャル研究交流、国際交流実施
- ③ AI研究インターンシップ制度

ダイバーシティ 研究環境整備

- ① 託児費用補助制度
休日・育児保育利用者数
モニタリング
- ② 介護支援の実践的援助
- ③ 研究支援員制度の拡大
(育児・介護中男性研究者等)

◆ 研究支援
① 架け橋研究支援
基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
② 国際共同研究支援
国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
③ AI研究スタートアップ支援
保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援

◆ 補助制度
① 学会等参加時の託児費補助
② 国際共同研究における英語論文掲載料補助
③ AI講習会、研修会参加費補助

◆ ダイバーシティ研究環境整備
① 院内保育所の休日一時預かり保育の整備
② ファミリーサポート体制を活用した“ちょこっと介護見守り支援”
③ 男性研究者のための研究支援員制度利用枠新設

長期継続のための「後進育成」体制の構築

「次世代国際交流指導者」「次世代AI研究指導者」「次世代架け橋研究指導者」

研究支援を受けたものは、翌年以降、指導者として後進育成の役割を担う

Your Attention to Your Own Innovation !
女性研究者自らイノベーションを志しキャリアアップの基礎を構築
研究資金の獲得能力向上により**経済的自立**を目指す
苗床を育む

寄附や競争的外部資金獲得のみに頼ることなく
本学の産学連携における運営力を駆使しつつ
企業や団体との契約に基づく確かな外部資金獲得を目指す工夫を実践

国際共同研究を活性化
海外の複数の大学と共用できる
研究用デジタルプラットフォームを構築

【これまでの成果】

2016年 文部科学省 (JST) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)採択

特色型による取組により、女性教授比率が上昇
2020年7月に目標である30%を達成
<受賞歴>
2017年 東京都女性活躍推進大賞
2020年 日産財団 第3回リカジョ奨励賞

年度	女性割合	女性	男性	合計
2015.5	20.7%	25	96	121
2016.5	22.2%	26	91	117
2017.5	18.9%	23	99	122
2018.5	24.2%	31	97	128
2019.11	29.4%	42	101	143
2020.07	31.1%	42	93	135
2021.03	30.1%	41	95	136

【お問い合わせ】

機関名：学校法人東京女子医科大学
所在地：東京都新宿区河田町8-1
連絡先：03-3353-8112
(内線30165,30166)
cdc.bm@twmu.ac.jp
HP：http://www.twmu.ac.jp/gender/
女性医療人キャリア形成センター

18

令和 4(2022)年度活動年表

実施日	内容
令和 4(2022)年度	
4/1	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」募集開始
	「ちょこっと介護・見守り支援」開始
	男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
4/15	「AI・臨床統計無料相談会」参加受付開始
4/19	第 6 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
4/21	「学会参加時等の託児費補助制度」、「英語論文掲載料補助制度」、「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」受付開始
	「YAYOI プロジェクト」情報発信 メールリスト登録受付開始
4/27	第 1 回介護サポート調整会議（オンライン）
5/19	第 7 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
5/26	第 2 回介護サポート調整会議（オンライン）
6/3	東京女子医科大学病院循環器内科とタイの病院（Bangkok Christian Hospital）との Temi 通信テスト実施
6/13	「研究支援（AI 研究スタートアップ研究支援）」面接審査実施
6/14	「研究支援（架け橋研究支援）」面接審査実施
6/16	「研究支援（国際共同研究支援）」面接審査実施
6/21	第 8 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
6/29	「研究支援」採択者決定（架け橋研究支援 1 名、国際共同研究支援 2 名、AI 研究スタートアップ研究支援 2 名）
	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」再募集開始
7/15	第 9 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
7/26	「研究支援（架け橋研究支援）」再募集面接審査実施
7/27	「研究支援（国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」再募集面接審査実施
7/30	令和 3 年度ダイバーシティ環境整備事業報告（特色型・先端型）開催
8/1	第 4 回介護サポート調整会議（オンライン）
	「研究支援」採択者決定（架け橋研究支援 4 名、国際共同研究支援 2 名、AI 研究スタートアップ研究支援 2 名）
8/2	男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査実施
8/4	第 2 回オープンイノベーション講演会開催
8/8	男性研究者のための「研究支援員制度」採択者決定
8/18	第 10 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
8/22	「彌生人メンター・メンティ賞」募集受付開始

実施日	内容
令和4(2022)年度	
8/24	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）」採択者授与式開催
8/29	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）」採択者授与式開催
9/20	第11回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
9/28	第1回ピアラーニング for やよいびと開催
	イタリア大臣（大学・研究担当）来学
	第5回介護サポート調整会議（オンライン）
9/30	JSTによる令和3年度額の確定調査実施
10/1	令和5(2023)年度 男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
10/3	国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援募集開始
10/4	「彌生人メンター・メンティ賞」選考会
	「彌生人メンター・メンティ賞」受賞者決定（4組）
10/20	第12回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
10/24	第6回介護サポート調整会議（オンライン）
11/2	「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催
11/14	第7回介護サポート調整会議（オンライン）
11/18	第13回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
11/21	長野県松本保健福祉事務所・木曾保健福祉事務所オンライン面会
12/10	介護サポート通信第1号発行
12/14	第8回介護サポート調整会議
12/19	第2回ピアラーニング for やよいびと開催
12/20	第14回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	ちょこっと介護説明会開催
12/21	画像データ演習会開催
	ちょこっと介護説明会開催
	介護サポート提供会員向け茶話会開催
12/22	Slackを利用した本学研究者のための「YAYOI コミュニティ」参加募集開始
12/26	ちょこっと介護説明会開催
12/28	大阪公立大学 介護支援について Zoom 視察
1/5	令和3(2021)年度研究支援採択者研究報告動画「東京女子医科大学公式 YouTube チャンネル」にて配信開始
1/11	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
1/12	看護学部成人看護学での temi 実装
	ちょこっと介護説明会開催
1/18	令和5(2023)年度男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査
	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催

実施日	内容
令和4(2022)年度	
	第9回介護サポート調整会議
1/19	第15回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
1/26	第3回オープンイノベーション講演会開催（オンライン）
	富山大学 介護支援について Zoom 視察
	ちょこっと介護説明会開催
2/9	第1回介護講演会開催（オンライン）
	ちょこっと介護説明会開催
2/13	第2回 医療・ヘルスケア AI 講演会開催（オンライン）
2/16	第10回介護サポート調整会議
	ちょこっと介護説明会開催
2/20	表形式データの機械学習演習会開催（オンライン）
2/21	第16回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
2/22	第3回ピアラーニング for やよいびと開催（オンライン）
	ちょこっと介護説明会開催
2/24	第1回科研費セミナー開催（オンライン）
3/8	ちょこっと介護説明会開催
3/9	架け橋研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
3/13	ちょこっと介護説明会開催
3/16	第17回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
3/23	ちょこっと介護説明会開催
3/24	第11回介護サポート調整会議
3/31	令和4(2022)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」活動報告書発行

令和3年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会の実施

令和4(2022)7月30日(土)、彌生記念教育棟104会議室にて、Zoom ウェビナー「ダイバーシティ環境整備事業報告」が開催されました。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み Zoom ウェビナーによる開催となりましたが、学内のみならず北は北海道から南は沖縄県まで学外からも多数のご参加をいただき、女子医大ダイバーシティ事業への関心の高さが伺えました。



報告会の冒頭、岩本絹子理事長と丸義朗学長のビデオメッセージによるご挨拶をいただきました。岩本絹子理事長からは「女性活躍推進法が成立した現代においては社会に貢献する女性医療人、そして指導的立場の役割を担う人材の輩出が望まれており、女性医療人を輩出し続けている本学の役割はより一層重要な存在となっています」とのお言葉をいただきました。続いて、丸義朗学長は「本事業の到達目標と実施計画のPDCAサイクルをきめ細かに回転させながら本事業に取り組んで参ります」と本事業に邁進する決意を語られました。その後、肥塚直美常務理事(女性医療人キャリア形成センター長)が開会の挨拶を述べられ、会が開始となりました。

第1部「報告会」では、まず令和3(2021)年度に6年間の事業期間を終了した文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」について、野原理子教授・基幹分野長(衛生学公衆衛生学講座(公衆衛生学分野)、女性医師・研究者支援部門副部門長)より成果・総括についての報告がありました。平成28(2016)年度に採択された「特色型」では、本学の事業主行動計画に基づき「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」の3つのテーマを掲げ、女性教授比率30%を目標として事業に取り組んでまいりました。その結果、6年間で特任教授・特命担当教授を含む36名の女性が教授に登用され、2020年度5月の時点で女性教授比率30%を達成しました。ただし、女性上位職の十分な割合の確保と維持、競争的基金の獲得、そして介護支援の充実など課題があり、今後は先端型にてこれらの課題解決とさらなる高みを目指して事業を進めてまいります。



続いて令和3(2021)年度より新たにスタートした同事業「先端型」について、本多祥子准教授(解剖学(神経分子形態学分野)、ダイバーシティ環境整備事業推進室長)より初年度の取組について報告いたしました。「先端型」では、より高みを目指す女性医療人を育むことを目的として、グローバルヘルスリーダーとさらなる女性登用「YAYOIプロジェクト」を立ち上げました。このYAYOIは、自らのイノベーションを意識していこうという意味の英語、Your attention to your own innovation!を、本学の学祖、吉岡彌生先生のお名前に絡めています。YAYOIプロジェクトでは、女性教授の基盤となる女性准教授・講師の昇進昇格を積極的に推し進める体



制を構築していきます。研究意欲を盛り上げる取組として、先端生命医科学センターTWInsを主体とした「オープンイノベーション講演会」開催に加え、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI研究」3種の研究支援制度を創設し、2021年度は女性研究者10名の支援を実施しています。第1部の後半では、この10名による研究成果報告も動画で行われ、本学の女性研究者の活躍を多くの方に知っていただく機会となりました。また、「学会参加時の託児費補助」や「英語論文掲載料補助」「男性研究者を対象とした研究支援員制度」の実施、さらに院内保育所におけるICTを活用した環境整備、介護支援ファミリーサポート「ちょこっと介護見守り支援」の始動についてもご報告いたしました。今後も新たな取組を追加して参ります。

第2部「特別講演」では、齋藤加代子特任教授（ゲノム診療科、女性医療人キャリア形成センター副センター長）の座長のもと、宮浦千里先生（中部大学 総長補佐・特任教授）より「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」と題したご講演を賜りました。わが国の男女共同参画において解決すべき問題点について、宮浦先生がこれまで活動拠点とされてきた東京農工大学で明らかになった事柄と有効な取組方法についてご教授くださいました。科学領域におけるダイバーシティ促進のためには、異分野融合・文理融合・性差融合など応用科学における多様性を意識した教育・研究が必要であること、また科学技術領域における女性リーダー育成強化のためには、「ライフイベントとの両立環境、採用・昇進における女性登用の推進方策、組織としてのダイバーシティ戦略」を基本的インフラとして全国にしっかり定着させていくことが必要、との力強いメッセージを頂戴いたしました。



引き続き行われたパネルディスカッションでは、番場嘉子講師（外科学講座（下部消化管外科学分野））、石津綾子教授・基幹分野長（解剖学講座（顕微解剖学・形態形成学分野））、小川久貴子看護学部長（発表順）から日頃感じている疑問などをお話いただき、宮浦先生より丁寧なアドバイスをいただきました。最後に石黒直子医学部長（女性医療人リーダー育成部門長）より閉会のご挨拶を賜り、会は終了となりました。



当日の様子を女性医療人キャリア形成センターHPにて動画公開しております。下記QRコードよりYouTubeにてご覧いただけます。



● 令和3年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会チラシ・プログラム

文部科学省科学技術人材育成補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)

東京女子医科大学
令和3年度 ダイバーシティ環境整備事業報告
女性が輝き続ける
ダイバーシティ推進のために

国内唯一の「女子医科大学」として、本学が培ってきた女性経験・研究者支援の歴史を活かした**特色型**6年間の成果と、令和3年度よりスタートした更なる高みを目指す**先導型**YAYOIプロジェクトでの研究者支援などの取組、実績を報告いたします。

開催日 2022.7.30 土 13:00~16:00

会場 Zoomウェビナー <https://forms.gle/e6SPtC3KJX5X1RTV6>

参加費無料 要事前申し込み

第1部 【報告会】
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)6年間の総括
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)令和3年度報告
令和3年度「研究支援制度」採択者 研究成果報告

第2部 【特別講演】
「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」
宮浦 千里 氏 (中部大学 総長補佐・特任教授)

パネルディスカッション
・ 宮浦 千里 氏 中部大学 総長補佐・特任教授
・ 小川 久貴 氏 東京女子医科大学 看護学部長
・ 石津 綾子 東京女子医科大学 解剖学講座(顕微鏡学・形態学) 教授・基幹分野長
・ 岩崎 晶子 東京女子医科大学 外科学講座(下部消化器外科) 講師

主催：東京女子医科大学 女性医人キャリア形成センター
お問い合わせ：TEL:03-3553-8112 (内線1916)
MAIL:cdc_bm@twmu.ac.jp

【特別講演】
岩崎 晶子 東京女子医科大学 医学部長 外科学講座(下部消化器外科) 教授・基幹分野長 (女性医人リーダー育成部門長)

【閉会の挨拶】
岩本 綾子 学校法人 東京女子医科大学 理事
丸 穂南 東京女子医科大学 学長

【閉会の挨拶】
岩本 綾子 学校法人 東京女子医科大学 理事

13:00~ 【挨拶】
岩本 綾子 学校法人 東京女子医科大学 理事
丸 穂南 東京女子医科大学 学長

13:30~ 【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)6年間の総括】
岩本 綾子 東京女子医科大学 産学生命工学部(公衆衛生学) 教授・基幹分野長 (女性医人・研究推進部副部長)

13:58~ 【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型) 令和3年度報告】
岩本 綾子 東京女子医科大学 解剖学講座(顕微鏡学) 准教授 (ダイバーシティ推進部副部長)

14:18~ 【令和3年度「研究支援制度」採択者 研究成果報告】
岩本 綾子 東京女子医科大学 解剖学講座(顕微鏡学) 准教授 (ダイバーシティ推進部副部長)

14:48~ 休憩

14:58~ 【特別講演】
議長：岩本 綾子 東京女子医科大学 グラム部 特任教授 (女性医人キャリア形成センター副センター長)
演者：宮浦 千里 氏 中部大学 総長補佐・特任教授
「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」

15:38~ 【パネルディスカッション】
岩本 綾子 東京女子医科大学 解剖学講座(顕微鏡学) 准教授
小川 久貴 氏 東京女子医科大学 看護学部長 (看護学) 教授・基幹分野長
石津 綾子 東京女子医科大学 解剖学講座(顕微鏡学) 教授・基幹分野長
岩崎 晶子 東京女子医科大学 外科学講座(下部消化器外科) 講師 (ダイバーシティ推進部副部長)

15:58~ 【閉会の挨拶】
岩本 綾子 東京女子医科大学 医学部長 外科学講座(下部消化器外科) 教授・基幹分野長 (女性医人リーダー育成部門長)

お問い合わせ：東京女子医科大学 女性医人キャリア形成センター
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>
MAIL: cdc_bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3553-8112 (内線30166)

※本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」の一環として実施します。

● 「先端型」事業紹介スライド（本多祥子室長）

2022/7/30
 タイバーシティ研究環境実現
 イニシアティブ（先端型）
 令和3年度報告

グローバルヘルスリーダー育成と
 更なる女性登用
 「YAYOI プロジェクト」
 Your Attention to Your Own Innovation!

本学の学祖
 吉岡彌生先生

学校法人 東京女子医科大学
 女性医療人キャリア形成センター
 タイバーシティ環境整備事業推進室
 室長 本多祥子
 解剖学（神経分子形態学分野）

グローバルヘルスリーダー
 YAYOI プロジェクト

本学の学祖
 吉岡 彌生 先生

1928年 第1回第1回太平洋婦人会議に
 日本女医会代表として出席（於ベルリン）

1939年 厚生省 文部省の嘱託として欧米諸国の
 母子保健事業 医学教育を視察

グローバルヘルスリーダー

トランスジェンダーを扱った。国際的生理学者として止血研究に
 大きな功績を挙げました。女性がキャリアを築くにつれて時代に
 変化と仕事を両立した先駆者でもありました。

岡本歌子先生
 昭和16年生
 (1918-2016年)

石坂照子先生
 昭和24年生
 (1926-2019年)

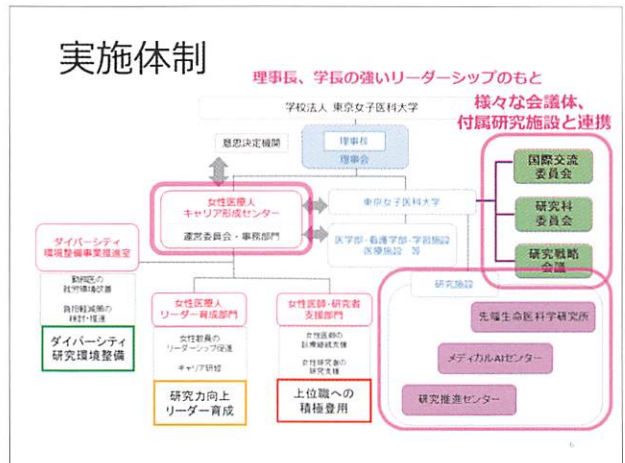
理念：至誠と愛
 使命：社会に貢献する女性医療人の育成
 (女性研究者)
 「自らが」
 グローバルヘルスリーダーを目指す「彌生人(やよいびと)」を育てる
 Own Innovation

令和3年度 女性活躍推進法に基づく
 学校法人東京女子医科大学の行動計画

目標1：女性教授率30%の達成と維持
 目標2：介護支援制度利用者比率0.6%の達成

目標・行動計画

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研究等応募数 30%増 科研究等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープン/ハーション 講演会・交流会	①届け機研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①託児費用補助制度 休日・病欠保育利用者数 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中女性研究者等)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室、女性医療人リーダー育成部門、女性医師研究支援部門	研究推進会議、国際交流委員会、 経営委員会 先端生命研究所 メディカルAIセンター	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持	目標2 介護支援制度利用者比率0.6%	
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に 国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		



ダイバーシティ事業推進担当者会議



COVID-19感染拡大防止のため、毎月1回オンラインにて実施

目標・行動計画

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	① 女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ② 学長指名推薦による 女性教授登用 ③ オープンイノベーション 講演会・交流会	① 関係横研究支援 ② パーチャル研究交流、 国際交流実施 ③ AI研究 インターンシップ制度	① 托児費用補助制度 休日・残業保育料増額等 モニタリング ② 介護支援の実践的援助 ③ 研究支援員制度の拡大 (育児・介護中継型研究者特)
ストラクチャー	ダイバーシティ推進推進事業推進室、女性選任人リーダー育成部門、女性選任研究支援部門	理事長・学長、 常務理事会議、理事会、 教授会	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持	目標2 介護支援制度利用率0.6%	
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、大学の理念「基誠と愛」の下に 国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

Your Attention to Your Own Innovation !

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

平成27年～令和3年 教授職における女性割合の推移

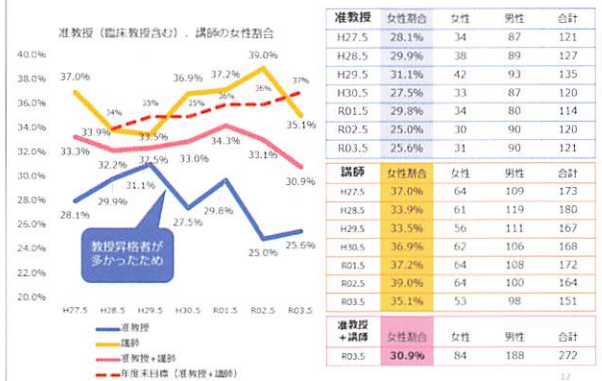
教授（特命担当含む）の女性割合と在籍数



女性教授率30%の達成と維持

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
教授 <small>※特任教授・特命担当教授含む (学外からの兼任・返/着)</small>	4名	5名 (0/2名)	13名 (0/3名)	6名 (2/0名)	6名 (3/0名)	2名 (0/0名)
准教授 <small>※准教授→臨床教授含む</small>	5名	4名	7名	7名	6名	8名
講師 <small>※専任講師・特任准講師含む</small>	12名	11名	12名	21名	16名	15名
他大学 教授採用者	-	2名	3名	2名	1名	2名

平成27年～令和3年 准教授、講師における女性割合の推移



(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用

約30%の女性教授による後押しを活用

新規採用

従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター
プラス

基礎医学系講師、
付属研究施設
の女性研究者
(医師・看護師以外)
を含む

「**後進女性研究者を指導する能力**」を評価

所属部署における若手女性研究者の業績・研究費獲得への貢献度

昇進・昇格

従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター
プラス

教員評価制度の評価結果・国際活躍業績を評価

女性研究者育成や研究環境整備への貢献度

13

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用

キャリア形成のための実践的な個別アドバイス体制の整備

企画・準備中

- メンター（准教授、講師）を登録（MD、non-MD、男女問わず）
- 相談希望者（メンティ：助教、研修医、院生など女性研究者）を募集
- マッチング
- オンラインor対面で**キャリア形成のための個別相談会**を実施

ピアラーニング for やよいびと

企画・準備中

- ロールモデルとなる現職の准教授や講師、PIを登録（学内・学外問わず）
- 助教、研修医、院生など女性研究者から広く参加希望者を募集
- 臨床医学・基礎研究・看護等**様々な分野の「ピアラーニング」**を実施

14

Your Attention to Your Own Innovation !

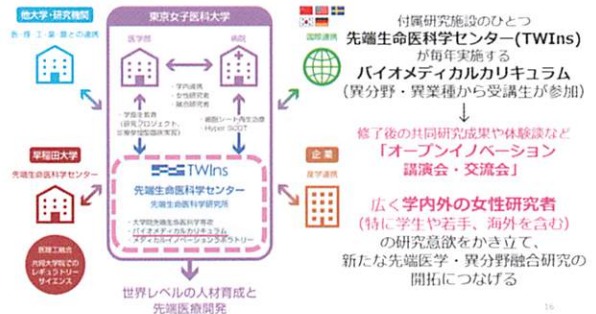
(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

15

(1) 上位職への積極的登用

- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施



16

(1) 上位職への積極的登用

- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

第1回オープンイノベーション講演会 令和4年1月24日オンライン開催 約50名が参加

参加者の声 ～参加者アンケートより～

【女性医師】
高橋先生の「自分で限界を作らない」というお言葉に大変感銘を受けました。(中略) いくつかの気づきがあった感じがします。世界で活躍する先生方のお話を直接伺うこのような機会を頂き感謝申し上げます。

【医学部学生】
自分で自分の限界を定めてはならないのだと考えさせられました。(中略) 謙虚に学び続ける一方で、心の中には熱い夢を大事に持ち続け、自分を信じて、無謀でも実現しようとする一歩踏み出すことの大切さを確認できました。かなりターニングポイントになったと実感しています。

演者：

小林真里先生
(東京農工大 特任准教授)

高橋政代先生
(株式会社ビジョンケア 代表取締役社長、眼科医)



17

(1) 上位職への積極的登用

- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

第2回オープンイノベーション講演会 日時：令和4年8月4日（木）18：00-19：30 オンラインにて開催いたします。

演者：

播場嘉子先生
(東京女子医科大学 外科学講座 下部消化管外科 講師
メディカルAIセンター 副センター長)

小林英津子先生
(東京大学大学院工学系研究科 精密工学科/精密工学専攻 教授)

女性医療人キャリア形成センターHPにて
参加申込み受付中です。是非ご参加ください。



18

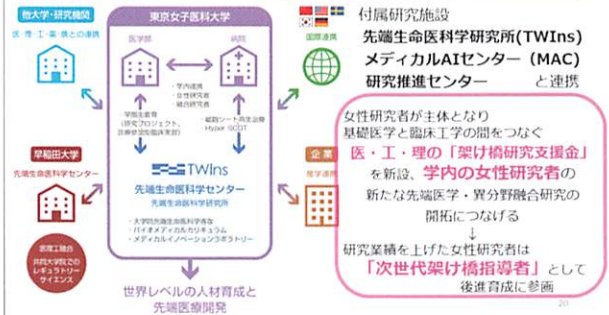
Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援



(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

「架け橋研究支援」の実施 ー令和3年度架け橋研究支援金採択者4名ー

<p>関谷佐智子 助教 先端生命科学研究所 「生体外ヒト腎臓モデルに向けた腎臓オルガノイドの血管機能化」</p>	<p>青木信奈子 助教 先端生命科学研究所 「医工連携によるヒト心臓組織の構造・機能に対する血管新生抑制性制御の検証」</p>
<p>番場真子 准講師 外科学分野(下部消化管外科学分野) 「手術室での場合別画像 画像の撮影と手術関連の情報共有による手術支援」</p>	<p>金谷萌子 助教 生理学講座(神経生理学) 「機械学習を活用した痛み行動評価系の確立」</p>

※採択時の職位・所属を記載 23

Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

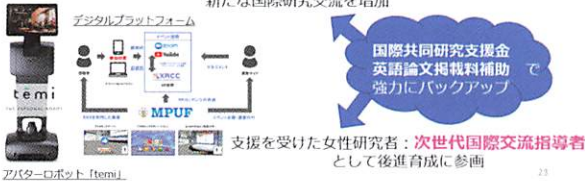
- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

学生国際交流活動ですでに活用しているデジタルプログラムを基盤として海外の複数の大学と共用できる**研究用デジタルプラットフォーム**を構築
メンバー大学間で安全に研究ノウハウやデータを共有し、研究効率を促進、国際共同研究を活性化

国際共同研究中もしくは経験有する女性研究者が**国際交流指導者**を中心に新たな国際研究交流を増加



(2) 研究力向上、リーダー育成

- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

「国際共同研究支援」の実施 ー令和3年度国際共同研究支援金採択者3名ー

<p>石津綾子 教授・基幹分野長 解剖学講座(動物解剖学・形態形成学) 「単一造血幹細胞におけるサイトカイン応答性解析」 「Single cell based analysis of hematopoietic stem cell response to cytokine signaling」 シンカポール国立大学との共同研究</p>	<p>河村(中山)寿子 助教 生理学講座(神経生理学) 「ストレスによる視床神経回路の改組」 「Stress-induced remodeling of neuronal circuits in the sensory thalamus」 コレージュ・ド・フランス、INSERM、パリ大学研究大学院との共同研究</p>	<p>風早世 助教 国際連携・国際医学講座(国際連携・国際医学分野) 「アフリカ辺境地域における栄養不良の原因とリスク要因の解明」 「Determining the causes and risk factors of malnutrition in marginal areas of Africa」 ケニア中央大学研究所、ケニア保健院、マウントケニア大学、横浜大学等との共同研究</p>
--	---	---

※採択時の職位・所属を記載 24

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

研究用デジタルプラットフォームの構築

XR空間(XRCC)を用いたハーバード大学との国際共同研究のキックオフミーティングを実施 (令和4年2月)



先端生命科学研究所 北原秀治 特任准教授
 麻酔科学講座 長坂安子 教授・基幹分野長
 麻酔科学講座 森脇翔太 医師

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

アバターロボット「temi」を使用して、シンガポール国立大学の国際共同研究者 (Dr. Lee Hui, Dr. Spencer) が本学のラボを視察 (令和4年1月)



アバターロボット「temi」
 解剖学 (顕微解剖学・形態形成学) 石津綾子 教授・基幹分野長

Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

学内研究施設のひとつ

メディカルAIセンター(MAC)に「AI研究インターンシップ制度」を新設

AI研修、講習会参加機会を提供 (学内女性研究者には参加費一部補助)

広く学内外の女性研究者 (特に学生や若手研究者、医師、看護師を含む) の研究意欲をかき立て、新たな先端医学・AI研究の開拓につなげる

MAC「AI研究指導者」に師事し新たにAI研究を開始する女性研究者を増加

支援を受けた女性研究者: 次世代AI研究指導者として後進育成に参画



AI研究スタートアップ
 支援金で
 強力にバックアップ

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI研究スタートアップ支援」の実施

岩下華子 准講師 国際環境・熱帯医学講座 (国際環境・熱帯医学分野)
 「ノーコードディープラーニングを活用した、ケアにおける住民参加型マテリアル媒介感染対策」



河合朝子 助教 眼科科学講座 眼科科学分野
 「機械学習を利用したデータクラスタリング」



令和3年度AI研究スタートアップ支援金 採択者3名

熊坂綾乃 看護師 看護部
 「Artificial intelligence(AI)を用いた、ストーママネジメント支援ツールの開発」



※採択時の職位・所属を記載

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI研究インターンシップ制度」の創設

AI研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIセミナーや演習会をセンター主催で企画し、定期的に開催 (株ステージン共催)

令和4年2月 第1回医療・ヘルスケアAI講演会 → (98名参加)



令和4年2月
 ↑アノテーション演習会 (4名参加)

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の創設

女性研究者が自らの希望するテーマでAI研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的とし、AI研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助

R3年度4名支援
現在R4年度申請受付中



Your Attention to Your Own Innovation !

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

「育児・介護に関するアンケート調査」 令和3年実施

東京女子医科大学全教職員を対象に、育児・介護に関する現状やニーズを調べることを目的としたオンラインアンケート調査を実施

[回答期間]令和3年12月15日
～令和4年1月5日

[有効回答数]1,796名/6,082名
[回収率] 29.6%

令和元年12月
第1回介護に関する全教職員対象アンケート調査時の回収率：11.3%



(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

「学会参加時等の託児費補助制度」 の創設

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会等（オンライン含む）に参加する育児中の本学女性研究者が、託児サービス（ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、学会の託児サービスなど）を利用する際、その費用を一部または全額補助（対象となる子ども1名につき1万円/1回まで）

現在令和4年度申請受付中



(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のための やよい保育園（院内保育所）のICT環境整備

保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供する。



保育満足度とニーズ把握のための 利用者アンケート実施

保育園利用者に定期的にアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討する。



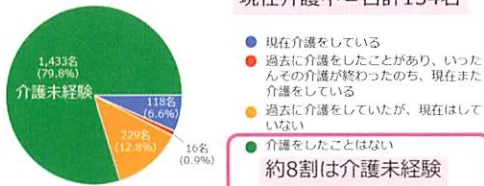
Your Attention to Your Own Innovation !

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

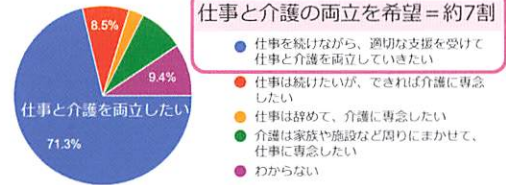
令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q あなたは介護をしていますか？
もしくは、していましたか？



令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

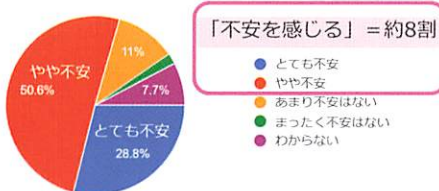
Q 仕事と介護のバランスはどのような形が
望ましいですか？



参考 令和元年度アンケート結果：東京女子医大雑誌91(4):205-218, 2021
学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：介護に関するアンケート調査結果から

令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

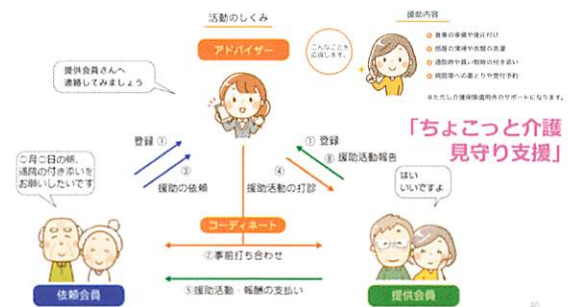
Q 現在もしくは将来の介護に
どの程度不安を感じていますか？



参考 令和元年度アンケート結果：東京女子医大雑誌91(4):205-218, 2021
学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：介護に関するアンケート調査結果から

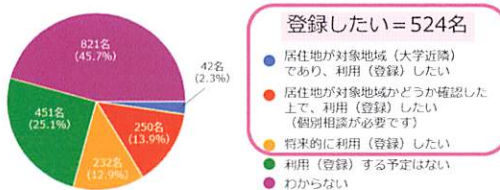
(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築



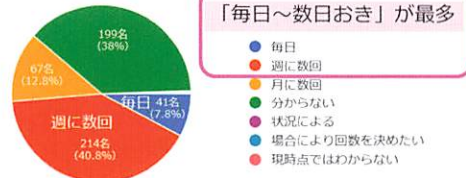
令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q 「女子医大ファミリーサポート」に介護見守り支援が
導入された場合、利用（登録）したいと思いますか？



令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q どの程度の利用を希望しますか？



(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

「ちよこつと介護見守り支援」

サポート会員登録希望者を募集、

説明会・講習会を実施

令和4年1月28日事業説明会

2月18日介護講習会

2月25日介護実習



サポート提供会員の皆さんと



令和4年4月より本格始動
依頼会員募集中

43

Your Attention to Your Own Innovation !

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

44

(3) ダイバーシティ研究環境整備

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大



これまでの
女性研究者のみを対象とした
研究支援員制度

プラス

新たに
「男性研究者の支援枠」設立

育児/介護により研究ベースの維持が困難な
男性研究者1名を、書類審査・面接審査で
公正に選抜し、1年間研究支援員1名を配属
する費用を負担

令和4年度募集終了
令和5年度は10月より募集予定

45

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 2022/7/30
令和3年度報告

グローバルヘルスリーダー育成と 更なる女性登用

「YAYOI プロジェクト」



女性医療人キャリア形成センターHP

<http://www.fwmu.ac.jp/gender/>

YAYOIプロジェクトに ご協力いただいている皆様（順不同）

MPFU事務局

株式会社NTTドコモ

株式会社スタージェン

ユニファ株式会社

NPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ

パーソルテンプスタッフ株式会社

株式会社スタッフサービス



47

II 事業報告① - 上位職への積極登用 -

女性教授割合の拡大状況

平成 28(2016)年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」では、女性教授率 30%を目標に様々な取組を行い、令和 2(2020)年 7 月に特命担当教授(将来の教授候補者)を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。

本事業では特命担当教授を含まない「女性教授率 30%の達成と維持」を目標とし、OECD 加盟国に匹敵する女性教授比率の達成を目指します。

【教授の女性割合と在籍数】

		女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.7%	36	99	135
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.2%	34	91	125

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

女性教授比率の向上に加え、次世代の女性教授候補者層を厚くし裾野を広げるためには、女性准教授・講師を着実に育成していくことが不可欠です。優れた女性教員(女性研究者)に対し女性准教授・講師昇進昇格を積極的に実施し、女性教授比率 30%を今後も維持していくために、これまで 30%程度に留まっていた新規採用も含めた女性准教授比率、講師比率をそれぞれ 35%、40%とする目標を設定しました。本学では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として令和 2(2020)年度から教員評価制度が本格的に始動しており、適切な評価体制が整っています。また学祖 吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための組織「女性医療人リーダー育成部門」の本科生・登録生制度構築により、層の厚い人材育成を行ってきたことから、本事業では女性准教授・講師に関する学長指名推薦枠を導入、さらに看護系教育・研究職についても(特任教授、特任准教授に相当する)女性上位職の枠を新たに導入することで、女性教授候補者の層を厚くし、女性上位職の裾野を拡大します。

【准教授・講師の女性割合と在籍数】

		准教授				講師			
		女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.4%	32	85	117	34.2%	51	98	149

◆学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施

「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」演者である現准教授・講師をメンター、参加者をメンティとした個別アドバイスを実施しています。“女性研究者のキャリア形成”や“ライフイベントの乗り越え方”等、ピアラーニングの延長としてメンティの希望するテーマで身近なロールモデルであるメンターと科を越え自由に交流できる貴重な機会となっています。令和 4(2022)年度は希望者 2 名に対し、個別アドバイスを実施しました。

◆現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※)for 彌生人（やよいびと）」の開催

特色型で教授昇格を目的として行ってきたピアラーニングの「准教授・講師版」を「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」と称し、様々な分野で企画・開催をしています。この「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」のネーミングは、本学が輩出してきた多くのグローバルヘルスリーダーをロールモデルとし、これを目指す志を持つすべての女性研究者を「彌生人（やよいびと）」と総称することを由来としています。令和 4(2022)年度は 4 名の女性研究者にご講演いただき、希望者に対して個別アドバイスの場を設けていただきました。参加者からは、“今後どのように進んでいくかの指針になった”、“自分のキャリアプランを見直す手掛かりになった”等の感想が寄せられました。

	年度	日付	講師	参加者
1	令和 4(2022)年度	令和 4(2022)年 9 月 28 日	赤穂理絵准教授（精神医学） 石垣景子准教授（小児科学）	9 名
2		令和 4(2022)年 12 月 19 日	井坂珠子准教授（呼吸器外科学）	4 名
3		令和 5(2023)年 2 月 22 日	丸山千秋先生（公益財団法人東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 脳神経回路形成プロジェクト・プロジェクトリーダー）	5 名

◆「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」の設立

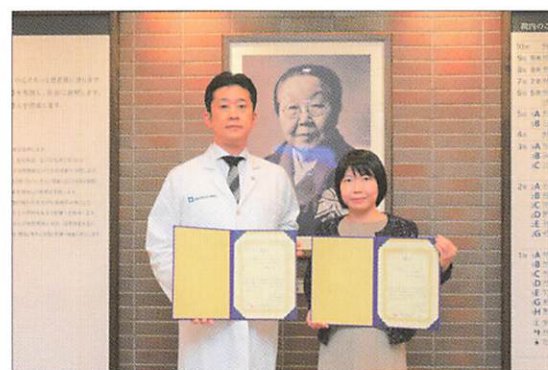
優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MD を含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師・看護師・non-MD を含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立しました。令和 4(2022)年度は、4 ペアが受賞し、令和 4(2022)年 11 月 2 日に授与式を行いました。



- ・ メンティ：橘田綾菜助教
(八千代医療センター整形外科)
メンター：岡崎賢教授・基幹分野長 (整形外科学)
 (授与式代理出席：岩倉菜穂子講師)



- ・ メンティ：菊池麻美助教
(足立医療センター脳神経外科)
メンター：久保田有一教授
(足立医療センター脳神経外科)



- ・ メンティ：武藤友香栄養士 (栄養管理部)
メンター：永田智教授・基幹分野長 (小児科学)



- ・ メンティ：落合萌子助教 (膠原病リウマチ内科)
メンター：田中榮一准教授 (膠原病リウマチ内科)



～「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」講評～

女性医療人キャリア形成センター 副センター長 齋藤加代子特任教授

令和4年11月2日（水）15時より第1回彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞授賞式が行われました。応募者は10組で倍率2.5倍の難関審査を4組のメンター・メンティが受賞なさいました。

本賞は、指導に当たった研究者（メンター）と当該メンティのペアを表彰し、メンティに対して、さらなる研究を支援するために研究助成を行うものです。4組の受賞者に対するコメントとして具体的には、以下のような講評がなされました。

- ・今回の応募論文を含み業績を積み重ねてきており将来有望な若手である。
- ・メンターの支えもあり、長期に亘って研究を続けた成果の論文であり多数の症例をまとめた学術論文である。
- ・実務に埋もれがちな業種であるが、メンターはメンティのリサーチマインドを発掘し、IFの高い雑誌の原著論文として掲載された。
- ・メンティのライフイベントの中で7年越しの努力とその指導、近年、メンティが継続的な実績を上げだしたことが評価される。

いずれも努力を積み重ねたメンティとその能力を引き出す優れたメンターのペアであります。

引き続き、次回のメンター・メンティ賞に多くの方が応募してくださいませう、そして、医療・医学への学術的貢献により本学における研究レベルの向上を目指されることを願っております。

学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、これまでの「上位職への積極登用」の行動計画ではプラスファクターおよび特命担当教授任命制度により教授昇格者数が大幅に増加しました。令和4(2022)年度は、教員評価制度の高評価に基づいて学長指名推薦を受けた女性教授候補者が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て、3名が教授に任命されました。(令和5(2023)年2月1日現在)

- ・西井明子教授（統合教育学修センター 基礎教育学）／令和4(2022)年5月26日付
- ・清水優子教授（医療安全科）／令和4(2022)年9月29日付
- ・飯嶋睦教授（脳神経内科）／令和4(2022)年11月1日付

オープンイノベーション講演会・交流会の実施

リーダーシップを発揮し異分野を繋げて未来の医療を担う女性医療人「彌生人（やよいびと）」の育成には、医・工・理含めた異分野連携、異業種連携の場が不可欠です。本学の医学系・理工系融合研究施設である先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下BMC）は、学内のみならず外部の企業、研究所、病院、文系大学など異分野・異職種からの参加希望者を対象とした医学全般のリカレント教育コースであり、医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーを融合した新しい先端医療の実現に貢献する幅広い人材育成と研究・開発の実践を目指しています。既に50年以上の歴史を持ち修了生は2000名を超え、医薬品・医療機器分野の他、化学・材料分野、食品分野、情報・通信分野、出版分野など様々な異分野業界の第一線で活躍する人材を数多く輩出しており、中には女性も含まれています。

本事業では現在活躍中のBMC修了生（女性を含む）によるオンライン講演会や交流会を実施し、広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進していきます。

◆第2回 オープンイノベーション講演会

日時：令和4(2022)年8月4日（木）18：00-19：30

方法：オンライン

演者：番場嘉子先生 [外科学講座（下部消化管外科学分野）講師、メディカルAIセンター副センター長]

小林英津子先生 [東京大学大学院工学系研究科教授]

参加者：約35名



◆第3回 オープンイノベーション講演会

日時：令和5(2023)年1月26日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：北奈央子先生 [株式会社ジョコネ。代表取締役、NPO 法人女性医療ネットワーク 理事]

新井郷子先生 [東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医科学部門
准教授、一般社団法人AIM 医学研究所 副所長]

参加者：約35名



● 上位職への積極登用の取組 リーフレット

◆ 第1回ピアラーニング for やよいびと

受付締切
9月21日(水)

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第1回開催のお知らせ

2022年9月28日 | 17:00~
Zoomによるオンライン開催

対象者
東京女子医科大学に在籍する
講師・助教を含む全ての
女性医師等女性研究者

大学院生、非常勤の方もどうぞ！ 足立、八千代からのご参加も大歓迎！

演者

赤穂 理絵 先生 (神経精神科 准教授)
石垣 景子 先生 (小児科 准教授)

進行
ダイバーシティ環境整備事業推進室 副室長
西井 明子 先生 (統合教育学センター長、教授)
香場 富子 先生 (消化器・一般外科 講師)

演者の先生と自由にお話をしながら、ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって准教授になりましたか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-3353-8112 内線30166
MAIL: cdc.bmd@twmu.ac.jp
URL: http://www.twmu.ac.jp/gender/

お申し込みは
こちらから



◆ 第2回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

~第2回開催のお知らせ~

開催日時 2022年12月19日(月)17:00~18:00

開催方法 Zoomによるオンライン開催
※後日のDVD貸出やオンライン視聴はございません

対象 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む全ての
女性医師等女性研究者

大学院生、非常勤の方もどうぞ！
足立、八千代からのご参加も大歓迎！

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のための
ヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるメリットは？
- どうやって准教授になりましたか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

進行
ダイバーシティ環境整備事業推進室 副室長
統合教育学センター長、教授 西井 明子 先生
消化器・一般外科 講師 香場 富子 先生

演者
呼吸器外科 准教授
井坂 珠子 先生

お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 3353-8112 内線30166
MAIL: cdc.bmd@twmu.ac.jp
URL: http://www.twmu.ac.jp/gender/

お申込み 受付締切 12月12日(月)
下記QRコードよりお申し込みください。



本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ環境整備事業イニシアティブ(先導型)」の一環として実施します

◆ 第3回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

~第3回~

~「脳発生学研究に たどり着くまで」~

演者: 丸山 千秋 先生
公益財団法人東京都医療科学研究所 脳・神経科学研究分野
脳神経回路形成プロジェクト プロジェクトリーダー

【開催日時】 2月22日(水) 17:00~18:00

【開催方法】 Zoomによるオンライン開催
※後日のDVD貸出やオンライン視聴はございません

【対象】 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む
全ての女性医師等女性研究者

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のための
ヒントを探ってみませんか？

★ 研究で一番楽しいことは何ですか？
★ 研究を主眼とする大業にしていることは？
★ ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？
★ 夢を叶えたい研究を続けるには、いまだ必要なのは？

【進行】 ダイバーシティ環境整備事業推進室、
統合教育学センター長、教授 西井 明子 先生
消化器・一般外科 講師 香場 富子 先生

大学院生、非常勤の方もどうぞ！ 足立、八千代からのご参加も大歓迎！

お申込み
お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 3353-8112 内線30166
URL: http://www.twmu.ac.jp/gender/
MAIL: cdc.bmd@twmu.ac.jp

QRコードより
お申し込みください



本イベントは文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ環境整備事業イニシアティブ(先導型)」の一環として実施します

◆ 彌生人メンター・メンティ賞

令和3年度文部科学省科学技術人材育成推進事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

やよいびと 彌生人メンター・メンティ賞 募集!!

更なる研究力向上の機運を高めることを目的として
【彌生人メンター・メンティ賞】を設立します！
メンター＆メンティペアを表彰し、メンティに対して研究助成を行います

1ペア上限金額 50万円

メンター
医師、看護師、non-MDを含む研究者(男女問わず)

メンティ
東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(医師、看護師、non-MDを含む)

【問い合わせ先】
東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
http://www.twmu.ac.jp/gender/
※詳細は上記URL又は右記QRコードよりホームページをご覧ください

優れた研究指導の結果、女性研究者＝メンティ(医師、看護師、non-MDを含む)が筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合または筆頭著者として学会発表を行った場合、指導に当たった研究者＝メンター(医師、看護師、non-MDを含む、男女問わず)と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」を設立しました。

応募条件 (メンティ対象者)

- 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(教授、非常勤、大学院生は除く)
- 原則として未卒修了後2年間は本学に在籍すること
- 応募には、所属長の許可を必要とする
- 年齢制限なし(ただし45歳程度までの若手女性研究者を優先する)

賞状対象

①論文：査読のある論文でメンティ対象者が筆頭著者のもの(英文、和文いずれも可)
②学会発表：メンティ対象者が筆頭著者として発表したもの(口演、ポスターいずれも可)

応募資格

申請書、履状書※、業績目録※、論文別刷(当該年度と前年度 採択論文のうち1篇を審査対象とする)または学会別録(当該年度と前年度の学会発表のうちひとつ) ※申請書(メンティ)について記入

賞状金額

1ペア上限金額50万円 ※年度繰り越し不可

賞状金の使途

研究に直接関連する消耗品(ただし備品以外)の購入に必要な費用とする

募集締切日	募集人数
令和4年9月22日(木) ※原本、事務局必着	若干名

※詳細事項や詳細はオモテのQRコードよりご確認ください

彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞 応募例

メンティAさん
(医師以上の女性研究者)
医師、看護師、non-MDを含む

「Aさんの指導のおかげ！」

Aさん
Aさん自身もペアで応募

メンター・メンティ賞

「Aさんを見てみたい！」
(研究指導者、医師、メンター対象)

メンターBさん
(医師、看護師、医師、東メンターは男性もOK)

「研究として取り立ちます自信があります」

「Aさんの研究が、メンティの研究プロセスに大きな影響を与えました」

◆ 第2回オープンイノベーション講演会

第2回

文部科学省科学技術人材育成推進事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施します

Your Attention to Your Own Innovation!

オープンイノベーション講演会

令和4年
日時 **8月4日(木) 18:00-19:30**
オンライン開催 参加費無料

ダイバーシティ(先端型)事業紹介

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)YAYOIプロジェクト」
本多 祥子 [ダイバーシティ環境整備事業推進室長、解剖学講座(神経分子形態学分野)准教授]

講演会・パネルディスカッション

「究極のAI外科医を作りたい
～進化する大腸癌手術～」

番場 嘉子 [東京女子医科大学 外科学講座(下部消化管外科学分野)講師、
メディカルAIセンター 副センター長]

「低侵襲手術を支援するロボット・ナビゲーションシステム」

小林 英津子先生 [東京大学大学院 工学系研究科 教授]

パネルディスカッション
小林 英津子先生、番場 嘉子

お申込 <https://forms.gle/h1FT4JBa3nEXkug5> 女性医療人キャリア形成センター
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
URL: http://www.twmu.ac.jp/gender/

お申込みは先着順です

◆ 第3回オープンイノベーション講演会

第3回

文部科学省科学技術人材育成推進事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施します

Your Attention to Your Own Innovation!

オープンイノベーション講演会

2023年1月26日(木) 18:00～19:30

Zoomによるオンライン開催(参加費無料・要事前申込)
※Live配信のみ(後日の録画配信はございません)

テーマ ヘルスリテラシーと予防医学の融合

講演会

「女性の活躍とヘルスリテラシー」

北 奈央子氏
株式会社ジョコネ、代表取締役
NPO法人女性医療ネットワーク 理事

「研究者の夢と目覚め
～血中タンパク質AIMの臨床応用をめざして～」

新井 郷子氏
東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター
分子病態医学部門 准教授
一般社団法人AIM医学研究所 副所長

パネルディスカッション

お問い合わせ **女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室**
TEL: 03-3353-8112 内線30166 MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
URL: http://www.twmu.ac.jp/gender/

III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -

本学の研究力向上状況

本学女性教職員の科研費応募件数は例年コンスタントに維持されております。本事業では、女性研究者の科研費等競争的研究資金の応募数 30%増、新規採択率 20%増、原著論文等 10%増を目指します。令和 3(2021)年度に引き続き、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」における研究支援を実施し、令和 4(2022)年度より研究力向上の新たな取組として、科研費採択支援を開始いたしました。

基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援

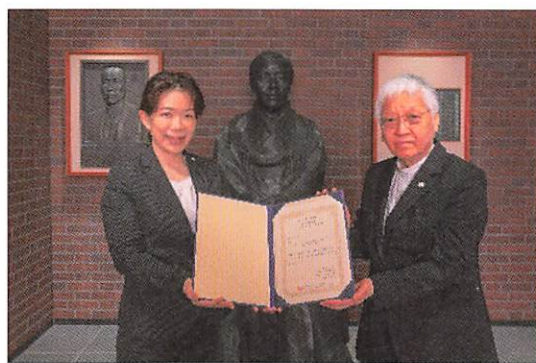
本学の先端生命医科学研究所では 20 年前より独自の細胞シート工学を開発し、これを幹細胞生物学と臨床工学の架け橋として治療・創薬・疾患研究に応用しています。更には細胞農業を含めた異分野融合研究も始まっており、今後の幅広い展開が期待され既に本学内の医学部学生や若手研究者の注目を集めています。看護学領域においても、基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、本事業では、このような基礎医学と臨床工学の間を繋ぐいわば医・工・理の架け橋研究をスムーズに開始できるスタートアップ支援などの体制を構築し、これに関わる若手女性研究者の増加を促進していきます。本学には臨床工学と医学の先端的研究を行う研究施設として先端生命医科学研究所、メディカル AI センター、研究推進センターがあり、基礎医学系研究室との長年の共同研究実績も数多く、架け橋研究の基盤を有しています。先端技術に関わる研究開発を通じて、女性グローバルヘルスリーダーに欠かせない倫理的・法的・社会的な課題についての知見を深めます。

◆「架け橋研究支援」制度の実施

架け橋研究スタートを希望する女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援する制度です。これにより、架け橋研究の促進と、架け橋研究に関わる若手女性研究者の増加を推進します。令和 4(2022)年度は 5 名が採択され、令和 4(2022)年 8 月に授与式が行われました。

・坂井晶子助教（循環器内科）

-研究課題名「アンモニア PET による微小血管狭心症の診断から治療ストラテジーの確立」



- 青木信奈子助教（先端生命医科学研究所）
-研究課題名「心筋組織における血管新生抑制性制御の意義の解明」



- 番場嘉子講師（外科学講座 下部消化管外科）
-研究課題名「大腸癌手術におけるデジタルツインを用いた3Dモデル作成と手術シミュレーション」



- 金谷萌子助教（生理学 神経生理学分野）
-研究課題名「視床後内側腹側核における神経回路変化の機能的意義の解明」



- 辻真世子助教（呼吸器内科）
-研究課題名「個別化医療を目指した原発性線毛機能不全症気道上皮培養細胞のライブイメージング」



◆「架け橋研究指導者」による「架け橋研究紹介ツアー」の企画

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を促進するため、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。「架け橋研究」を行う研究者同士の交流を兼ねて、令和3(2021)・4(2022)年度本支援採択者による後進育成活動の顔合わせディスカッション会を開催しました。今後は架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の開催準備を進めています。また、架け橋研究担当責任者による勉強会を定期的に開催しています。

◆令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画をYouTubeの東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

これまで本学医学部・看護学部では国際交換留学が盛んに行われており、世界の多数の大学との国際留学協定のもとで多くの学生を送り出し、また受け入れてきました。COVID-19 感染蔓延はいつ終わるとも知れず、このような海外渡航困難な状況下でも、既に本学では国際交流委員会が中心となり、海外留学を目指す学生、研究者、医師、看護師を対象に、海外経験を有するまたは海外で活躍中の卒業生や教職員からデジタルプラットフォーム上で経験談を聞き相互交流するプログラム「アナザースカイ」を定期的実施しています。また看護学部においてはCOIL(Collaborative Online International Learning)を応用した国際教育プログラムが講義の一環として既に実践されており、長年にわたり学生交換留学を実施してきた海外の大学とオンライン交流が盛んに行われています。

本事業ではこれら国際交流の効果を研究レベルに拡大し活用するため、すでに国際留学協定の実績で信頼のある大学を含めた海外の複数の大学と、共用の研究デジタルプラットフォームを構築し、メンバー大学間で安全に共同研究活動を実施でき、情報やノウハウを相互に共有して研究効率を上げるためのシステム構築を目指します。これにより学内の海外留学・国際共同研究経験のある研究者を中心とした新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進め、さらに英語論文が採択された研究者には掲載料の補助を行い、研究力向上および上位職登用への促進を図ります。

また本学の先端生命医科学研究所がすでに活用しているアバターロボットを利用することにより、国内外の研究者が本学の研究現場に立ち合いディスカッションしたり、講義や研修を受けたりすることを可能にします。既に本学の研究者と米国の研究者との間でアバターロボットを用いたカンファレンスが試みられており、本事業ではその更なる利用拡大、国際共同研究活性化への貢献を支援していきます。

◆「国際共同研究支援」制度の実施

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援する制度です。支援対象者が国際共同研究に積極的に関わることで、新たな国際研究交流の増加や国際共同研究の活性化を推し進めることを目的とします。令和4(2022)年度は3名が採択され、令和4(2022)年8月に授与式が行われました。

・望月牧子助教（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）

-研究課題名

(和文) 骨髄不全症における造血幹細胞のミトコンドリア代謝機能変容の解明

(英文) Understanding the changing of mitochondria metabolism in BMF HSC

※セントジュード小児研究病院との共同研究



・河村(中山) 寿子助教(生理学 神経生理学分野)

ー研究課題名

(和文) 社会性を欠いた生活環境下での感覚情報処理神経回路の破綻

(英文) Disruption of neural circuits in the sensory thalamus under living in social isolation

※コレージュ・ド・フランス, INSERM, パリ文理研究大学との共同研究



・岡本祐子講師(内科学講座 膠原病リウマチ内科学分野)

ー研究課題名

(和文) 関節リウマチ発症ハイリスク者に認められるT細胞受容体シグナル変容

(英文) Altered T cell receptor signaling in at-risk for future development of rheumatoid arthritis

※コロラド大学デンバー校との共同研究



◆「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催

「国際共同研究」を促進するため、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。国際共同研究を行う研究者同士の交流を兼ねて、令和3(2021)・4(2022)本支援採択者による後進育成活動の顔合わせディスカッション会を開催しました。今後は国際共同研究経験者による講演会や座談会、相談会等の開催を企画しています。

◆「英語論文掲載料補助制度」の実施

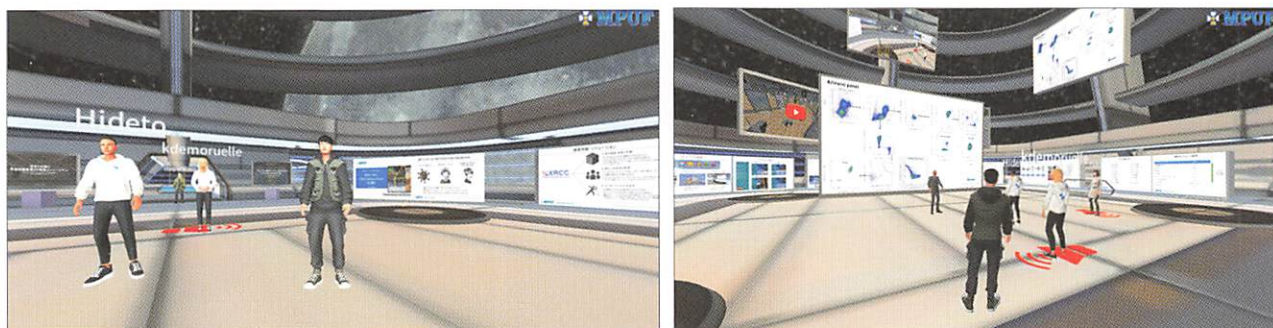
国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料(論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等)の補助を行う制度を実施しています。令和4(2022)年度は7名に支援を行いました。

◆国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームを構築し、これを活用した国際研究講演会・交流会の企画を進めています。

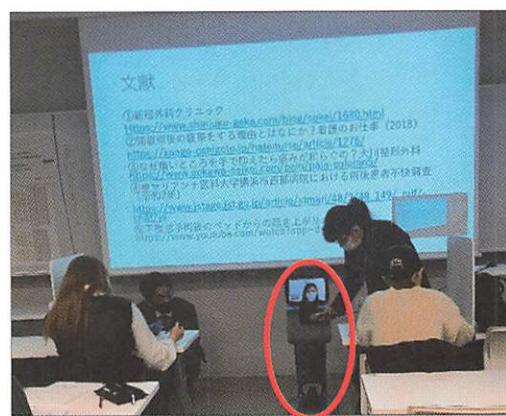
令和5(2023)年1月21日、MPUF XRCC(XR Conference Cloud)を活用した岡本祐子先生(本学膠原病リウマチ内科)、高田秀人先生(米国コロラド大学リウマチ科)、Kristen Demoruelle先生(米国コロラド大学リウマチ科)、北原秀治先生(本学先端生命医科学研究所)による国際会議を実施しました。

メタバース空間を利用することで、空間内でスライドを共有し、対面での発表のように研究内容を紹介し、ディスカッションを行いました。今後は定期的に、米国コロラド大学とのメタバースを使用した国際会議を行っていく予定です。



◆アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

- ・カテーテル室での手技を海外の医師に伝達し意見交換を行うことを目的として、本学循環器内科 山口淳一教授・基幹分野長のご協力のもと、タイの病院 (Bangkok Christian Hospital) との Temi 通信テストを実施しました。今後も海外との意見交換や技術指導について検討を進めます。
- ・令和 5(2023)年 1 月 12 日に本学看護学部にて今後の国際交流を想定した temi の実装を行いました。temi を介して通常の授業のように臨場感のあるコミュニケーションを取ることができ、今後は海外の研究者に向けた研究紹介や国際共同研究の場で実際に活用していく予定です。



◆国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援

「国際共同研究がしたいけど渡航できない」と諦めている女性医師等研究者に向けて、国際的研究交流や国際共同研究のきっかけづくりとして、また国内・海外で国際的に活躍する女性研究者等とのネットワークを構築し、新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として、国際的に活躍される研究者を演者として招聘した講演会や交流会の開催に対し、開催支援（謝金支援）を実施しています。令和 4(2022)年度は、石津綾子教授・基幹分野長（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）主催のテキサス大学の吉本桃子先生による講演会について支援しました。

Dr. Mojoko Yoshimoto, M.D., Ph.D.
Associate Professor, Center for Stem Cell & Regenerative Medicine
Co-director of Immunology Program at MD Anderson
UTHealth Graduate School of Biomedical Sciences

UTHealth The University of Texas Health Science Center at Houston

McGovern Medical School

The Brown Foundation Institute of Molecular Medicine for the Prevention of Human Diseases

Dr. Yoshimoto graduated from Medical School in Japan and finished her residency and fellowship program of Pediatric Hematology/Oncology in Japan. She obtained Ph.D. from Kyoto University Graduate School of Medicine in 2003, and her thesis was the visualization of transplanted hematopoietic stem cell (HSC) behavior in the recipient mice using GFP transgenic mouse. Dr. Yoshimoto moved to Dr. Marvin C. Yoder lab at Indiana University School of Medicine as a post-doctoral fellow, where she focused on lymphopoiesis in the extraembryonic yolk sac of the mouse embryo. She was promoted to Assistant professor at Indiana University in 2009 and obtained NIH R56 grant followed by R01 in 2016. Dr. Yoshimoto was recruited to Center for Stem Cell Research and Regenerative Medicine at IMM, UTHealth 2016.

E7.5 ECs produce MPPs and other lymphoid progenitors in the FL

◆女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール（Slack）の活用

女性医師等研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的に、オンラインコミュニケーションツール“Slack（スラック）”を利用した、本学在籍の研究者による登録制の開かれた情報交換の場として「YAYOI コミュニティ」を開設しました。現在、「国際共同研究支援」採択者を中心に23名が登録し、国際共同研究に関する情報交換や若手研究者からの海外留学の相談など、研究者同士の交流が広がっています。

◆令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画をYouTubeの東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業においては、本学卒の女性研究者が、令和 2(2020)年度の研究支援員制度を活用し AI 研究を開始するなど、学内では医療 AI 研究の機運が高まっています。AI 研究への若手女性研究者参画をこれまで以上に促進するため、本事業では学内外の研究者に AI 活用の基本を学修する機会や実際の AI 開発の現状を習得する機会を豊富に提供し、女性研究者の学内外における AI 研修、講習会参加を支援します。また医療 AI 研究に特化した学内研究施設であるメディカル AI センターにおいて、新たに AI 研究インターンシップ制度を構築し、学内外の様々な保健医療分野で活躍する女性研究者が AI 研究を開始できるようスタートアップ支援を行います。

◆「AI 研究スタートアップ支援制度」の実施

AI 研究を開始する女性研究者を『AI 研究スタートアップ支援金』により支援し、保健医療分野における AI 研究を増加・促進します。令和 4(2022)年度は 4 名が採択され、令和 4(2022)年 8 月に授与式が行われました。

・稲野辺奈緒子講師 (看護学部)

-研究課題名

「看護師の観察力向上のための AI を活用した訓練プログラムの開発」



・中尾梨沙子助教 (循環器内科・予防医学科)

-研究課題名

「深層学習による仮想心筋 PET と SPECT 補正診断技術」



・ 富永絢子助教（整形外科）

ー研究課題名「AI を活用した単純 X 線検査での骨粗鬆症スクリーニング検査の確立」



・ 河合萌子助教（眼科）

ー研究課題名「画像間距離測定による地図状萎縮進行の評価」



◆ 「AI 研究指導者」による「AI インターンシップ制度」の構築

「AI 研究」を促進するため、令和 3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担い、本学「メディカル AI センター（以下、MAC）推進会議」にて、AI 研究指導者を含む AI 研究者による研究紹介・勉強会を実施しています。また保健医療分野における AI 研究を活性化するプロジェクトとして、新たな AI 研究開始を希望する女性研究者が AI 医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べる AI インターンシップ制度を構築しました。本学の MAC ではすでに定期的に MAC 主催 AI 講習会、AI 演習会を開催することで AI 教育を実施しており、更に本事業主催による AI 講習会、AI 演習会を学内で開催し、多くの女性研究者が参加しました。

・ AI・臨床統計無料相談会

日時：下記日程の 16 時-18 時

<2022 年>4 月 22 日（金）、5 月 27 日（金）、6 月 24 日（金）、7 月 22 日（金）、9 月 22 日（木）、10 月 21 日（金）、11 月 25 日（金）、12 月 23 日（金）

<2023 年>1 月 20 日（金）、2 月 24 日（金）、3 月 24 日（金）

方法：Web セミナー形式で開催

・ 画像データ演習会

日時：令和 4(2022)年 12 月 21 日(水)17 時-18 時

方法：Web セミナー形式で開催

・第2回 医療・ヘルスケア AI 講演会

日時：令和5(2023)年2月13日(月)17時-18時30分

方法：Web セミナー形式で開催

・表形式データの機械学習演習会

日時：令和5(2023)年2月20日(月)17時-18時

方法：Web セミナー形式で開催

◆「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI 研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外の AI 講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助する制度を設立しました。女性研究者が自らの希望するテーマで AI 研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的としています。令和4(2022)年度は1名(2件)に対し支援を行いました。

◆令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

科研費申請支援

◆科研費採択率向上のための申請書レビューの実施

競争的研究費申請支援事業の一環として、下記の科学研究費種目に申請した女性研究者（研究代表者、研究分担者）のうち希望者約60名に対し、科研費申請書の無料申請書レビュー（※委託業者：ロバスト・ジャパン株式会社）を実施しました。

【申請書レビュー対象となる科学研究費種目】

- ・基盤研究（A、B、C）、若手研究、挑戦的研究、研究活動スタート支援
- ・国際共同研究強化（A、B）
- ・奨励研究、研究成果公開促進費

【レビュー内容】

- ・論理構成に関するコメント、文章表現、必要事項の記載チェック、費用算定のレビュー、書式調整についてのアドバイス

◆科研費セミナーの開催

申請書レビュー同様、競争的研究費申請支援事業の一環として、科研費セミナーを開催しました。第1回目は、信州大学の女性URA阿部知子先生をお迎えし、「研究支援からみた研究における科研費とは」をテーマにしたご講演と、本学教職員との座談会をオンラインにて開催しました。

日時：令和5(2023)年2月24日（金）17：00-18：30

方法：オンライン

演者：阿部知子先生〔信州大学学術研究・産学官連携推進機構リサーチアドミニストレーション室 准教授〕

座談会登壇者：阿部知子先生

番場嘉子先生〔消化器・一般外科 講師〕

中山寿子先生〔生理学（神経生理学分野）講師〕

山内典子氏〔八千代医療センター看護部 看護師〕

佐々木孝寛氏〔研究推進センター TRC 室 URA〕

● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット

◆研究支援 公募のお知らせ


 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
 「タイバシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

**令和4年度
研究支援 公募のお知らせ**

1. 架け橋研究支援
2. 国際共同研究支援
3. AI研究スタートアップ支援

【募集要項、応募書類】
QRコードよりHPをご覧ください。



【お問い合わせ】
フォームからの問い合わせにご協力をお願いします。
内容確認後、追って事務局よりメールにて回答いたします。




 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
 タイバシティ研究環境整備事業推進室

1. 架け橋研究支援

基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ、医・工・理の「架け橋研究」

すでに架け橋研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

若手女性研究者の
増加を促進

支援総額	725万円(一人当たりの上限金額145万円) ※年度繰り越し不可				
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(教授、非常勤、大学院生等) ◆原則として本支援終了後2年間は本学に在籍し、「架け橋研究指導者」として活動できる方 ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 ◆同一年度の「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」への応募はできません。 ◆1職種(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 				
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備備品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。				
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①履歴書 ②架け橋研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)				
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付				
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。				

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

2. 国際共同研究支援

国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化のための「国際共同研究支援」

すでに国際共同研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

新たな国際的研究交流の増加
国際共同研究の活性化を
推し進める

支援総額	500万円(一人当たりの上限金額100万円) ※年度繰り越し不可				
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に常勤として女性医師等女性研究者(教授、非常勤、大学院生等) ◆海外の研究者(国籍・性別問わず)と共同研究を遂行している方 ◆原則として本支援終了後2年間は本学に在籍し「国際共同研究指導者」として活動できる方 ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 ◆同一年度の「架け橋研究支援」「AI研究スタートアップ支援」への応募はできません。 ◆1職種(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 				
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備備品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。				
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①履歴書 ②国際共同研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)				
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付				
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。				

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

3. AI研究スタートアップ支援

保健医療分野でのAI研究推進のための「AI研究スタートアップ支援」

AI研究を新たにスタートする
女性研究者を支援

➔

保健医療分野での
AI研究を推進させる

支援総額	500万円(一人当たりの上限金額100万円) ※年度繰り越し不可				
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に常勤として女性医師等女性研究者(教授、非常勤、大学院生等) ◆原則として本支援終了後2年間は本学に在籍し、「AI研究指導者」として活動できる方 ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 ◆同一年度の「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」への応募はできません。 ◆1職種(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 				
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備備品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。				
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①履歴書 ②AI研究スタートアップ支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)				
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付				
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。				

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。


◆英語論文掲載料補助制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

令和4年度 対象者募集
英語論文掲載料補助制度
令和4年度受付締切：令和5年2月3日(金)

対象者：東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）

国際共同研究の成果、もしくは国際共同研究に発展しうる成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度です



対象となる論文
以下の①～③を全て満たすもの、または①と③を満たすものを対象とする

- ① 「Web of science」に収録されている
- ② 査読付き国際学術雑誌に掲載が決定した原著論文
- ③ 海外研究機関に所属する者（性別・国籍問わず）が共著者として一名以上含まれるもの


一件につき上限4万円
年度内1論文まで
その他※1

補助対象外

- 論文投稿料
- 別冊作成にかかる印刷代※2
- 英文校閲費用

※1,2HP参照

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : cdc.bm@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実施要項・申込書類はホームページをご覧ください



◆AI 講習会、研修会 参加費補助制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

令和4年度 対象者募集
AI講習会、研修会参加費補助制度
令和4年度受付締切：令和5年2月3日(金)

東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）対象
補助金額は一件につき上限10万円
申請者一名につき年度内2回まで申請可能



対象となるAI講習会、研修会 ※オンラインによる参加も含む

- ① 医療保険分野のAI講習会、研修会
- ② AIの一般基礎知識、データサイエンス等に関する講習会、研修会
- ③ AIに関する資格取得のための講習会、研修会
- ④ 学会等で開催されるAI関連のセミナー、シンポジウム等

※以下は補助対象外

- ・④に関連する学会入会費ならびに年会費
- ・基本的なコンピューター操作訓練のための研修費

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : cdc.bm@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実施要項・申込書類はホームページをご覧ください



◆「国際研究講演会・交流会」開催支援

プロジェクト推進事務局
YAYOIプロジェクト

先生の皆様へ
国内・海外で国際的に活躍する研究者による
国際研究講演会・交流会

女性研究者をはじめとした「国際的に活躍される研究者等」をお招きする講演会・交流会をダイバーシティ事業の一環として開催支援します。

目的
国内・海外で国際的に活躍する女性をはじめとした研究者等のネットワークを構築し、講演会・交流会を通じて、新たな国際的研究交流の場を、国際共同研究の活性化を担う場として提供し、支援します。

支援の流れ



① 国際的に活躍する研究者等（PhDクラス）ないし海外共同研究の促進のために適切におもわれる研究者である（女性・男性どちらでも可）
② 趣意・参加者に本学在籍の女性医師等女性研究者を必ず1名以上含む
③ 開催地、報告会・写真、参加者アンケートをもって実施報告ができる

詳細・依頼はこちらの二次元コードもしくはQRコードより
<http://yayoi.twmu.ac.jp/pressroom/news/detail/1412-096/>

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線30166)



◆「YAYOI コミュニティ」参加募集

「研究の輪が広がりますか？」
Slack利用した
東京女子医科大学 研究者のための
YAYOI コミュニティ
参加者募集

本学在籍の女性医師等研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とし、Slackを使った研究者同士の「繋がれた情報交換の場」として開設しました。

YAYOIコミュニティはチャットツール「Slack（スラック）」を利用しています。

性別・職位・所属問わず本学に在籍し研究に携わる方
(専任・八千代医療センター、世界実地研修助教の方、非常勤も含む)

@twmu.ac.jpのメールアドレスをお持ちの方

HPより運用ルールや使い方をチェック

参加URLよりコミュニティへご参加ください

コミュニティへのご参加、詳細は右記QRコードもしくは、URL（<http://www.twmu.ac.jp/gender/news/detail/17-d312>）より

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線30166)



◆ AI・臨床統計無料相談会

文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
グローバルヘルスリーダー育成と要する女性登用
「YAYOIプロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation!

女性医療人キャリア形成センター主催
お持ちのデータ活用に悩んでいる先生方

AI・臨床統計 無料相談会

「動画・画像データを持っているが
どうやってAIに学習させればいいのか分からない」
「臨床データの蓄積があるが、適切な統計手法がわからない」
そんな方のために、無料相談会を実施します。

相談無料

事前予約制
事前にメールにてご連絡いただき、日程調整の上、ご参加いただきます。
※先着5名様まで

専門家による個別相談
相談内容に合わせて、AIもしくは医療統計の専門家をご相談内容に対応させていただきます。

ZOOMオンライン開催
Zoomによるオンライン開催のため、来場していただく必要はございません。

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

開催日時 下記日程の16時から18時まで（お時間はご相談に応じます）

2022年	4月22日（金）	2023年	1月20日（金）
	5月27日（金）		2月24日（金）
	6月24日（金）		3月24日（金）
	7月22日（金）		
	9月22日（木）		
	10月21日（金）		
	11月25日（金）		
	12月23日（金）		

AI・臨床統計無料相談会への申し込み
・株式会社スタージェン（担当：熊坂）
※お問合せはメールでご連絡ください。
・メールアドレス：asc@stagen.co.jp

◆ 画像データ演習会

文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
グローバルヘルスリーダー育成と要する女性登用
「YAYOIプロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation!

ExcelデータをAI用教師データにする！

第3回 表形式データの機械学習 演習会

主催：東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

「これまで研究データは全てマイクロソフトのExcelで保存してきたがExcel形式のデータなどの表形式データはAIでは使用できなくてがっかり...」
こんな方のために、表形式データ解析の実習を行います。
無料のソフトを使用して、ご自身のPCでデータ解析を実施して頂きます。
AIに興味を持ちつつも、ハードルが高いと感じている方に！
超初心者向け！

内容
日常で最もよく見るデータは、Excelに代表される表計算ソフトで取り扱う、表形式データです。
本講習会では、Google Colaboryを利用した実習で、表形式データに手軽に利用でき、高い性能を発揮する事で知られる、XGBoostとLightGBMの使い方について学びます。

日時 令和5年2月20日（月） 17:00-18:00

会場 東京女子医科大学 彌生記念教育棟104号室

定員 5名 **参加費無料**

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

講師 戸塚裕彦（とつかひろひこ）
株式会社スタージェン 情報解析事業部所属

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください
当日の持ち物等についても、裏面をご確認下さい

◆ 第2回医療・ヘルスケア AI 講演会

文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
グローバルヘルスリーダー育成と要する女性登用
「YAYOIプロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation!

医療現場へのAI活用が分かる！

第2回 医療・ヘルスケアAI講演会

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター主催

日時 2月13日（月）17:00～18:30

会場 Webセミナー形式で開催

参加費無料

こんな方にオススメ！

- 医師等の医療・病院関係者
- 製薬、医療機器、臨床検査、健康美容等の医療・ヘルスケア関連企業
- その他医療分野におけるAIの活用に興味を持つ方、メディアなど

講演内容

①「診療情報とオミックスデータをを用いたデータ駆動的患者層別化と創薬標的探索」
・内容：創薬において臨床試験chase IIにおける開発中止の理由の過半数は薬効の実証失敗にあり、実験動物から得られた知見をもとにした創薬標的探索に限界があると考えられる。本講演では、診療情報及びオミックスデータをを用いてデータ駆動的に患者層別化を行う新規解析手法と、それを用いた創薬標的探索について紹介する。
・講師：夏目 やよい(なつめ やよい) 先生
・所属：医療基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医療研究センター

②「人工知能AIを用いた大腸癌に対するTotal Navigation Surgery」
・内容：Total Navigation Surgery (TNS)とは、患者に低侵襲で根治性の高い最適な手術を行うための、周術期のビックデータを基にした外科診療の人工知能AIシステムである。TNSの基礎研究として、独自に開発した術前画像診断モデルや手術計画における物体認識モデル、また手術室シミュレーションを紹介する。
・講師：香場 嘉子(ばなば よしこ) 先生
・所属：東京女子医科大学 外科学講座 下部消化管外科分野

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください

◆ 表形式データの機械学習 演習会

文部科学省科学技術人材育成補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
グローバルヘルスリーダー育成と要する女性登用
「YAYOIプロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation!

画像データ 演習会

主催：東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター

「AIの代表的な利用といえば画像データの判別。画像データの判別に興味がある、実際に行ってみたくても、パソコンの他に何が必要になるのかも分からない...」
こんな方のために、画像データ判別の演習を行います。
ご自身のwindowsパソコンから無料で利用できるクラウド環境であるGoogle Colabにアクセスして、AIのプログラムを実行し、画像データの判別を体験していただけます。超初心者向け！

内容
画像判別は、医療分野を含むAIの利活用において、欠かせないものとなっています。
その中でも、最も基本的な方式である畳み込みニューラルネットワーク(CNN)の仕組みを解説します。同時に、犬と猫の画像判別を行うCNNのプログラムを実際に動作させ、その性能の評価を行うことを通じて、利用方法についての理解を深めます。

日時 令和4年12月21日（水） 17:00-18:00

会場 東京女子医科大学 彌生記念教育棟104号室

定員 5名 **参加費無料**

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

講師 戸塚裕彦（とつかひろひこ）
株式会社スタージェン 情報解析事業部所属

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください
当日の持ち物等についても、裏面をご確認下さい

◆ 第1回科研費セミナー

本イベントは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の一環として実施します
Your Attention to Your Own Innovation!

第1回 科研費セミナー

2月24日(金) 17:00~18:30

・Zoomによるオンライン開催
・本学教職員とご参加いただけます
→大学生・非常勤の方にも「足立、八千代」からのご参加も大歓迎!

第1部:講演会

「研究支援からみた研究における科研費とは」

講師: 阿部知子先生
(医科大学 学術研究・産学連携推進機構 リサーチアドミニストレーション室 准教授)

1. 研究における科研費
2. 公開情報をもとに考える獲得戦略
3. 申請書作成のポイント
4. 助成金の活用と申請のポイント

こんな方、是非ご参加ください!

【第1部】
本学の科研費の申請・審査・配付の仕組みや、研究費の活用方法、公開情報をもとに考える獲得戦略について、申請書作成のポイント、助成金の活用と申請のポイントについて、ご説明いたします。

第2部:座談会

登壇者: 阿部知子先生
番島寛子先生 (消化器・一般外科 講師)
中山寿子先生 (生理学(神経生理学分野)講師)
山内典子氏 (八千代医療センター看護部 看護師)
佐々木孝寛氏 (研究推進センター TRC室 URA)

【第2部】
本学の科研費の申請・審査・配付の仕組みや、研究費の活用方法、公開情報をもとに考える獲得戦略について、申請書作成のポイント、助成金の活用と申請のポイントについて、ご説明いたします。

全体司会: 本多祥子先生 (解剖学(神経分子形態学分野)准教授、ダイバーシティ環境整備事業推進室長)

【お申し込み・お問い合わせ】
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL 03-3553-8112 内線 30166
MAIL cdc@twmu.ac.jp
<http://www.twmu.ac.jp/diversity/>

★QRコードよりお申し込みください



◆ 「YAYOIプロジェクト」ML登録案内

Your Attention to Your Own Innovation !

女性研究者向け 『YAYOIプロジェクト』情報発信 メーリングリスト登録のご案内

本学は、令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOIプロジェクト』を発足しました。
この度『YAYOIプロジェクト』で行う研究支援やセミナーなど様々な情報をご案内するメーリングリストの運用を開始いたしましたので、是非ご登録ください。(登録無料)

配信内容 架け橋研究
国際共同研究
AI研究
オープンイノベーション講演会・交流会
各種補助制度 など

対象者 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者
(医師以外の研究者、看護職、技術職、大学院生などを含む)

登録方法 下記QRコードもしくはURLよりご登録ください
<https://forms.gle/pM6geadLLCwHxD5U8>

【登録メールアドレスについて】
私用メールアドレスではなく、
twmuメールアドレスでの登録をお願いいたします



女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL 03-3553-8112 (内線30166) MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -

本学の研究環境整備状況

平成 28(2016)年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)における様々な取組により育児支援を含む種々の研究環境整備を推進してきました。特に「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による信頼度の高いきめ細やかな子育て支援は、全国に大きな社会的波及効果をもたらしています。

本事業では、更なる育児支援として学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備と、「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の新設を進めます。また同じく特色型事業で構築した研究支援員制度の利用対象者範囲をこれまでの女性だけでなく男性にも拡大し、更なる研究環境整備を図ります。

学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備

若手研究者の良い発表機会である学会の地方会や研究会などは土日祝日に実施されることが多く、比較的規模の小さい学術集会では託児サービスが用意されていないことも多々あります。また、国際学会や在宅オンラインで参加可能な学会では託児サービスの利用が難しく、参加の障壁となっています。そこで本事業では、託児サービスのない学会(地方会・研究会)、研修会、国際学会など(オンライン含む)に参加する際の託児費用の補助、更に本学施設内の院内保育所における土日祝日を含めた一時預かり保育制度の整備を進めています。

◆「学会参加時等の託児費補助制度」の実施

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会など(オンラインを含む)に参加する育児中の女性研究者が、託児サービス(ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、開催学会等の託児サービスなど)を利用する際、その費用を一部または全額補助する制度を設立しました。令和 4(2022)年度は 5 名(10 件)に支援を行いました。

◆院内保育所(学校法人東京女子医科大学附属病院院内保育所)におけるモニタリング調査の実施

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のために院内保育所の ICT 環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供します。

また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を令和 4(2022)年 2 月より開始しました。定期的にこのアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討していきます。

実践的介護支援体制の構築

特色型では本学教職員がキャリアと介護を両立し活躍することができる環境整備を目指し、キャリアと介護の両立ハンドブック配布、介護相談窓口設置等に取り組んできましたが、令和3(2021)年度に本学全教職員を対象に実施した「介護に関するアンケート調査」の回答からは介護に対する不安を訴える声が非常に多く、同時に仕事と介護の両立を望む声が大多数である、といった現状が明らかになりました。また一方で「本学の介護支援制度を全く知らない」との回答も多数ありました。

本事業では新たな施策と共に介護支援制度を周知することで、介護支援制度利用者比率をこれまでの約0.3%から0.6%へ、さらにそれ以上に引き上げ、女性研究者が安心して研究に専念できる環境を整備していきます。

◆介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の開始

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年4月より新設しました。

この「ちょこっと介護見守り支援」は、国や自治体といった行政による介護支援とは異なり、まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、例えばお食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。令和4(2022)年度は1名(2回)の支援を実施し、毎月Zoomによる無料相談会を開催しています。

令和3(2021)年度から現在まで2回の提供会員講習会を開催し、10名の提供会員が誕生しました。また提供会員向けにスキルアップ研修会や茶話会を開催し、支援時の注意事項や情報共有を行っています。



◆介護支援ハンドブックの作成

令和3(2021)年12月に本学教職員対象として「介護支援」に係る調査を実施した結果、多くの方から「仕事を続けながら適切な支援を受け、仕事と介護を両立したい」との回答が得られました。しかし同時に「介護に関する不安」を訴える声も非常に多く聞かれました。キャリアと介護を両立していくためには、介護に直面した際の初動対応と、上手に社会制度を活用するための基礎知識が大切です。介護によってキャリアを諦めることのないよう、介護支援ハンドブック「介護ロードの歩き方」を作成し、全教職員に配布しました。

◆介護支援に取り組む施設への視察

介護支援に取り組む施設への視察として、大阪公立大学と富山大学へのオンライン視察を行いました。大阪公立大学は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）に採択（平成29年度～令和4年度）され、連携機関共同による「介護相談窓口」を開設しているとのことで、介護に関する取組や情報発信の手法、具体的な相談内容等についてお話を伺いました。また富山大学では、単身赴任者が多く遠距離の介護相談が多い為、地域包括と学内相談者の仲介を行い、地域包括支援センターのネットワークを使うことで相談対応が可能になっているとの貴重なお話が伺えました。

◆介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供する為、介護経験者による介護講演会を開催しました。第1回目は、NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」にご出演の恩蔵絢子先生をお招きし、「脳科学から見た認知症」をテーマにしたご講演と、本学教職員との座談会をオンラインにて開催しました。

日時：令和5(2023)年2月9日（木）17:00-18:30

方法：オンライン

演者：恩蔵絢子先生

座談会登壇者：恩蔵絢子先生

松村美由起先生〔成人医学センター 講師〕

山内典子氏 〔八千代医療センター看護部 看護師〕

下村裕見子氏〔女性医療人キャリア形成センター 課長付〕



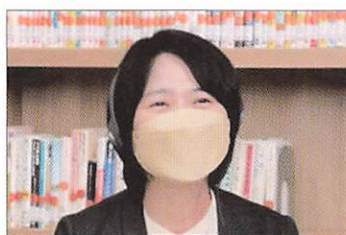
恩蔵絢子先生



本多祥子先生



松村美由起先生



山内典子氏



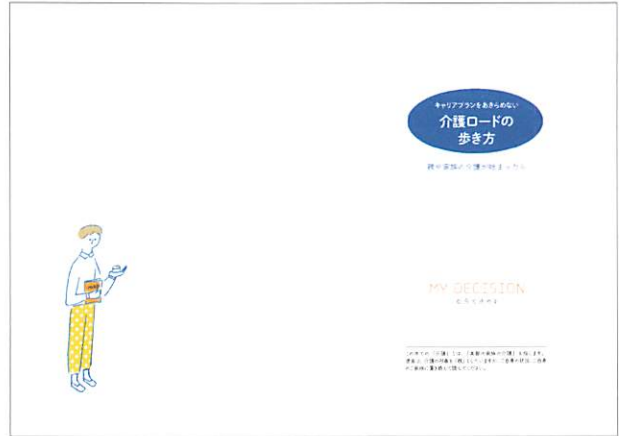
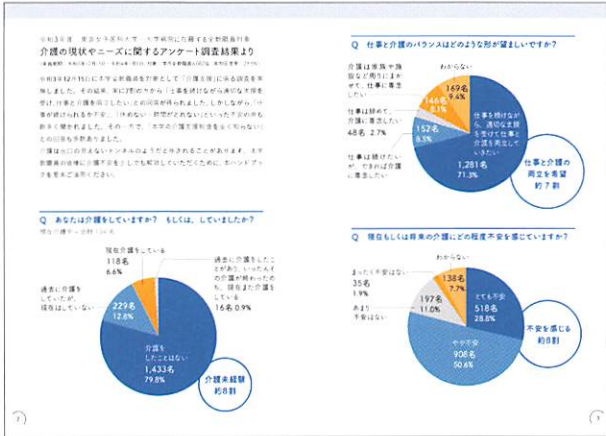
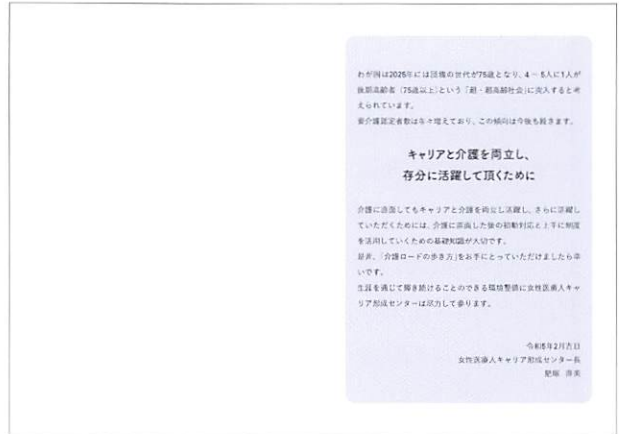
下村裕見子氏

研究支援員制度における対象者範囲の拡大

特色型では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や、これまでに十分な実績がある将来有望な女性研究者を支援し、研究活動をより活発にするため、研究者1名に対して支援員1名分の人件費を女性医療人キャリア形成センター基金等から拠出する「研究支援員制度」を創設しました。

本事業では、女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を新たに設けました。令和4(2021)年度は審査を経て、出雲渉助教（外科学講座 肝胆膵外科学分野）が支援対象者に決定。10月1日～3月31日まで支援員による研究支援を実施しました。（支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出）

● 「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」ハンドブック



ライフプランに「介護」が発生したら、「仕事との両立」を考える。

WORK & CARE
仕事と介護

介護の発生はライフプランに「介護」「健康」「生活」が加わります。
「介護」も視野に入れたライフプランを考える必要があります。
「介護」は発生する可能性があります。

では「介護」が発生したら
「仕事」や「生活」などを見直す必要があります。
ライフプランに「介護」を組み込む必要があります。
「介護」も視野に入れたライフプランを考える必要があります。

ライフプランに「介護」を組み込むためには
「仕事と介護」の両立を考えた上で、
「介護」も視野に入れたライフプランを考える必要があります。

仕事と介護の両立に必要な3つのDO

- DO 1 自分と親（介護が必要な家族）を併せて見る
- DO 2 ワークライフバランスをマネジメントする
- DO 3 箱詰めをたくさん持つておく

DO 1. 先行きが見えにくいからこそ、介護の全体像をイメージする。

ROAD MAP
介護の全体像

仕事と介護の両立（1）目的のDOは
「介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた」です。

先行きが見えにくい介護の発生は、生活は介護の発生を想定して
「将来的」「物理的」に十分な準備をしておくことが重要です。
また、介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた

自分と親（介護が必要な家族）を併せて見る
ワークライフバランスをマネジメントする
箱詰めをたくさん持つておく

DO 2. ワークライフバランスの中で「介護」の割合を考える。

WORK-LIFE BALANCE
ワークライフバランス

仕事と介護の両立（2）目的のDOは
「ワークライフバランスを考えた上で、介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた」です。

「仕事」「生活」「介護」の3つを軸として考える必要があります。
「介護」も視野に入れたワークライフバランスを考える必要があります。
「介護」も視野に入れたワークライフバランスを考える必要があります。

介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた

DO 3. 介護ロードと一緒に歩むチームメイトをたくさん作る。

TEAMMATE
チームメイト

仕事と介護の両立（3）目的のDOは
「介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた」です。

「介護」も視野に入れたワークライフバランスを考える必要があります。
「介護」も視野に入れたワークライフバランスを考える必要があります。
「介護」も視野に入れたワークライフバランスを考える必要があります。

介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた
介護発生時の生活（介護が必要な家族）も視野に入れた

介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。

REALLY QUIT?
本当に辞めるの？

介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。
介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。
介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。

介護職の収入は、高齢者は増加したか？
介護職の収入は、高齢者は増加したか？
介護職の収入は、高齢者は増加したか？

介護職の収入は、高齢者は増加したか？
介護職の収入は、高齢者は増加したか？
介護職の収入は、高齢者は増加したか？

介護には、お金も時間もかかる。

TIME & MONEY
介護の時間とお金

介護には、お金も時間もかかる。
介護には、お金も時間もかかる。
介護には、お金も時間もかかる。

介護には、お金も時間もかかる。
介護には、お金も時間もかかる。
介護には、お金も時間もかかる。

介護費用は、まずは親本人の資産から。

親の介護に必要となる費用は自費で負担したり、まずは親本人の資産の中から十分な介護のための費用を確保する必要があります。

介護は経済的負担が大きく、先が不安なものですが、十分な資産を確保することで、将来の介護費用に備える準備が整うようになります。

高齢になるほど介護費用も増えていき、介護を受けるほど介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

ASSETS
資産

ENTRY!
エントリー期間

介護への不安を感じ始めたときに、介護の「エントリー期間」。

介護は「エントリー期間」を経ていく必要があります。最初は「エントリー期間」が最も重要です。

親の健康から気を配り、もし介護が始まったら必要に応じて介護サービスを利用し、必要に応じて介護費用を確保しておくことが大切です。

介護を受ける時は、介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

DEMENTIA
認知症

「エントリー期間」の過ごし方で、介護の負担は軽減できる。

介護が始まる「エントリー期間」は、介護の負担が最も大きい時期です。この期間に介護の準備が整っていないと、介護の負担が大きくなる可能性があります。

介護を受ける時は、介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

PREVENTING FRAILTY
フレイル予防

TALK WITH FAMILY!
家族で話し合う

介護の進めるべとなる「親の希望」を「エントリー期間」で聞いておく。

「エントリー期間」は、親の希望を聞いておく最も重要な時期です。

介護を受ける時は、介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

DEMENTIA
認知症

「自分の時間」を使い始めたら、「介護の始まり」。

介護が始まる「エントリー期間」は、介護の負担が最も大きい時期です。この期間に介護の準備が整っていないと、介護の負担が大きくなる可能性があります。

介護を受ける時は、介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

START LINE
スタートライン

「うちの親に限って」と否定したくなるのが認知症。

「うちの親に限って」と否定したくなるのが認知症です。認知症は脳機能が低下することで起こります。

介護を受ける時は、介護費用も増えるという悪循環の恐れがあります。

対策：自費で負担可能な介護費用を確保することが必要です。十分な資産を確保しておくことが大切です。

DEMENTIA
認知症

CHECKLIST

- 認知症の初期症状を確認する
- 認知症の診断を受ける
- 認知症の治療法について知る
- 認知症の予防法について知る
- 認知症の介護費用について知る
- 認知症の介護サービスについて知る
- 認知症の介護を受ける際の注意点について知る
- 認知症の介護を受ける際の準備について知る
- 認知症の介護を受ける際の気持ちについて知る
- 認知症の介護を受ける際のサポートについて知る
- 認知症の介護を受ける際の情報について知る
- 認知症の介護を受ける際の不安について知る
- 認知症の介護を受ける際の希望について知る
- 認知症の介護を受ける際の決断について知る
- 認知症の介護を受ける際の後悔について知る
- 認知症の介護を受ける際の満足について知る
- 認知症の介護を受ける際の感謝について知る
- 認知症の介護を受ける際の愛について知る
- 認知症の介護を受ける際の希望について知る



介護ロードのスタートラインでやるべきは、
介護する“態勢”を整える7つの行動。

GET READY
態勢づくりの7つのアクション

態勢を整える①
地域包括支援センターに行く。

介護が必要になったときの高齢者相談窓口は、地域包括支援センターです。
「相談」「医療」「生活支援」「介護支援」の中で総合的に相談していただく「高齢者の生活相談所」となっています。
この窓口は「相談内容によって、対応が異なります」。主治医やケアマネジャー、保健師などが連携し、総合的な介護計画の作成や、必要に応じて専門機関と連携して、適切な対応がとれます。

態勢を整える②
職場に報告する。

介護開始の届け出は、ケアマネジャーや介護サービス事業者の相談し、職場の担当者へ伝えることも必要です。介護サービス事業者は、介護サービス提供の妨げにならないよう、必要に応じて就業環境の改善や、柔軟な働き方を検討することがあります。



態勢を整える③
支援制度を計画的に活用する。

介護の開始にあたって「介護休業」を行う。仕事を続けたいが介護の必要が生じた場合、介護休業を申請することで、介護開始の準備期間を確保することができます。

介護休業の分類と期間

介護休業の種類	期間
介護休業(1) 初期	1年以内
介護休業(2) 安定	1年以内
介護休業(3) 長期	1年以内

態勢を整える④
介護保険を申請する。

介護保険は、40歳以上の国民が国民年金に加入している限り、自動的に加入し、保険料を納入し、20歳以上の期間が経過すれば、自動的に加入者となります。申請は不要です。申請が必要な場合は、市区町村の地域包括支援センターで申請を行います。

申請の流れ:

- 市区町村または地域包括支援センターに相談
- 介護保険申請
- 介護保険の決定
- ケアマネジャー決定
- 介護サービス利用スタート

態勢を整える⑤
ケアマネジャーを決める。

介護サービスを利用するために必要となるのが「介護サービス利用計画書」である「ケアプラン」です。ケアプランは、介護サービスを利用するための具体的な計画です。ケアプランを作成する際に、ケアマネジャーの役割は、介護サービスの利用計画を策定することです。

ケアプランは、作業上の負担が大きいものになります。

介護サービスを利用している間は、ケアマネジャーの役割は、介護サービスの利用計画を策定することです。ケアプランは、介護サービスを利用するための具体的な計画です。ケアプランを作成する際に、ケアマネジャーの役割は、介護サービスの利用計画を策定することです。



態勢を整える⑥
親が自立して生活できる「ケアプラン」を立てる。

ケアプランの目標は、親が自立して生活できることです。そのために必要なケアサービスは、ケアマネジャーと相談して決めます。

態勢を整える⑦
介護サービス導入に立ち会う。

親への介護サービスを利用するときは、親が自立して生活できることを目指します。ケアマネジャーの役割は、介護サービスの利用計画を策定することです。ケアプランは、介護サービスを利用するための具体的な計画です。ケアプランを作成する際に、ケアマネジャーの役割は、介護サービスの利用計画を策定することです。

家族で相談しよう

大切なことは、本人の意向を尊重することです。

本人の意向

本人の意向を尊重し、介護サービスを利用することです。

本人の意向を尊重し、介護サービスを利用することです。



在宅介護 ケーススタディ

1 **同居介護**

2 **近距離介護**

介護を始めたときと現在のプラン

ケアマネージャーが提供するサービスの種類とプラン

介護の状況

介護の経過

介護の経過

介護をしていると、必ず状況が変わるときがくる。

CHANGE

介護の状況は変わる。突然の変化は必ずしも悪化の原因にならない。むしろ変化は新しい機会や可能性をもたらす。

例えば、介護者が介護者になることで、介護者の負担が軽減される。介護者の負担が軽減されることで、介護者の負担が軽減される。介護者の負担が軽減されることで、介護者の負担が軽減される。

毎月の「お変わりないですかチェック」で状況変化に対応する。

お変わりないですかチェック

お変わりないですかチェック

おわりは「お変わりないですかチェック」を、毎月必ず実施してください。おわりは「お変わりないですかチェック」を、毎月必ず実施してください。

CHECK!

介護の状況が変わったら、ライフプランを再確認する。

RE-DESIGN

「おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

もしも、どうしてもわからなくなったら。

I'M LOST...

おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

本人が望む介護とは？ 本人の希望を聞いておく。

WISH

おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。おわりは「おわりは「おわりは」」を、毎月必ず実施してください。

介護ロードの先には、必ず「人生の学び」がある。

19A ユウカが読みました。

関心領域として特別の先生は、人生の学びの先生になります。

何事にも「選ばれる力」を身につけて生きていく。実践します。

働くことにも「選ばれる力」を身につけて生きていく。

人生の学びは、自分自身で生きていくための、大切な学びになります。



40

東京女子医科大学の支援制度

学術的支援と育成

支援項目	内容
介護時間助成	介護職員に必要となる研修や出張費、転居に必要となる費用の助成等（特許料を含む）について助成を行います。専業主婦・専業主夫の方は別途ご相談ください。
研究外出助成	専業主婦・専業主夫は出張費や旅費を助成します。専業主夫の場合は、出張費補助金の上限額が専業主婦よりも高くなります。
調査費の助成	専業主婦・専業主夫は出張費や旅費を助成します。専業主夫の場合は、出張費補助金の上限額が専業主婦よりも高くなります。


学術的支援

助成項目	対象者	上限額	交付方法
助成金	専業主婦・専業主夫	10万円	現金
助成金	専業主婦・専業主夫	10万円	現金
助成金	専業主婦・専業主夫	10万円	現金
助成金	専業主婦・専業主夫	10万円	現金
助成金	専業主婦・専業主夫	10万円	現金

41

東京女子医科大学「ちょっと介護見守り支援」

介護サポートの仕組み



42

介護への備え

介護への備え

43

介護保険の基礎知識

種類	特徴
1. 介護保険	65歳以上の高齢者が対象となる。介護サービスを受けるための費用を支払う必要がある。
2. 介護保険料	65歳以上の高齢者が対象となる。介護サービスを受けるための費用を支払う必要がある。
3. 介護保険給付	介護サービスを受けるための費用を支払う必要がある。

44

介護給付の基礎知識

介護給付	介護給付の基礎知識
介護給付	介護給付の基礎知識
介護給付	介護給付の基礎知識

45



このパンフレットは、文部科学省科学技術人材育成補助事業「ポ
イインターン研究開発実証インキュベーター（先進型）」の補助金に
より作成したものです。

発行元 学校法人 東京女子医科大学
監修 株式会社ベネッセエデュケーション・サポート
イラスト モリノオシノカトヨシノ (P6)・(63)
発行日 2023年2月

掲載された内容には2023年2月現在の情報が含まれております。
当該補助制度の改定等により、内容が変更になる場合があります。

● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット

◆学会参加時等の託児費補助制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」

令和4年度託児費補助制度

令和4年度受付締切: 令和5年2月3日(金)

国内・国際学会、地方会、研究会、研修会など(オンライン含む)に参加し、対象となる託児サービスを利用した場合、利用料金の一部または全額を補助する制度です

※ 令和4年度については令和4年4月1日から令和5年1月末までにかかった託児費が補助対象になります

対象者
・12歳(小学生)以下の子どもを持つ東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(ただし非常勤、大学院生を除く)
※対象となる子ども一人につき1回1万円までの金額


対象となる託児サービス

- ・一時預かり保育
- ・ベビーシッター派遣サービス(全国保育サービス協会加盟事業者に限る)
- ・「女子医大・東京医大ファミリーサポート」および各市区町村実施のファミリーサポートセンターによる育児支援
- ・関連学会等の託児サービス

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

実施要項・申込書類はホームページをご覧ください

mail: cdc_bm@twmu.ac.jp
tel: 03-3553-8112 内線30166



◆院内保育所利用者アンケート調査

保育者の皆様へ

やよい保育園利用者アンケート調査へのご回答について (お願い)

平素より、本園の保育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。東京女子医科大学ではこのたび令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境整備事業(先導型)に採択され、取組の一つとして保育制度の整備を実施する運びとなりました。

つきましては、やよい保育園では保育園をより利用しやすくまた安心してご利用いただくために、利用者の方のご意見を伺い、保育園の運用の改善を図っていくことを目的に毎月アンケート調査を実施することとなりました。

ご多用のことは存じますがアンケート調査へのご協力のほどお願い申し上げます。なお、本アンケートの回答は自由意志で無記名です。アンケートへのご回答によってご回答者の方に不利益を生じることはありません。

【回答期間】 毎月10日まで
【所要時間】 2-3分程度
【回答方法】 下記ウェブサイトからご回答をお願いします。
<URL> <https://forms.gle/VcnpWoz3TuYi73UY6>
<QRコード>



本件のお問い合わせ先
ダイバーシティ環境整備事業推進室
総機 1F 447
内線 30166
メール: cdc_bm@twmu.ac.jp

◆「ちょこっと介護見守り支援」案内

"本学初"の介護支援事業

〈ちょこっと介護見守り支援〉

依頼会員募集中!

介護のことで悩んでいませんか?
「ほんの少しお手伝いしてもらえたら助かるんだけど…」
「他に誰もいないから自分が仕事を休むしかないかな…」

東京女子医科大学・介護サポートが定める「提供会員講習会」を受講し修了した提供会員がサポートします!

専属アドバイザーが本学に常駐
介護サポートについてのお問い合わせやご相談だけでも大歓迎! ぜひお気軽にご連絡ください!

どんなことを頼めるの? 依頼方法や利用料は? 話しだけ聞いてみたい

〈依頼例〉

- 掃除 洗濯の手伝い
- 食事の準備や後片付け
- 安否確認
- 外出のヘルプ 病院の付き添い

<問い合わせ先> (委託: NPO法人子何てネットワーク・ピッコロ)

〒162-8666 新宿区河田町8-1 巴女子学生会館 3階
東京女子医科大学・介護サポート

Tel: 03-5312-5206(直通) 03-3553-8112(内線) 41361
QRコードよりメールをお送りいただけます

Mail: kaigo-support.bm@twmu.ac.jp

"本学初"の介護支援事業

〈ちょこっと介護見守り支援〉

★ご利用例★

本学教職員の勤務地問わず

本院 河田町キャンパス 成人医学センター
足立医療センター看護専門学校
八千代医療センター

依頼会員(支援を必要とする方)のお住まいが **新宿区および近隣区** ※ 支援対象地域は花柏区

まずは **介護サポート(面談室)** にご相談ください!

介護サポートについてのお問い合わせだけでも大歓迎です! 専属のアドバイザーが常駐しておりますので ぜひお気軽にご連絡ください。

◆介護支援事業リーフレット

本学初!
介護支援事業 が始まりました!

★セルフチェック★ *あなた*が「今」または「今後」使える支援は?
 介護対象はご両親だけでなく、お子様やご兄弟なども対象です。

現在介護をされていますか?
 はい → 要介護認定を受けていますか?
 いいえ → 将来的に介護への不安はありますか?

はい → A
 いいえ → B
 はい → C
 いいえ → D

A すでに介護保険サービスを受けているが...
 介護保険のサービスは受けているが...
 介護保険のサービスは受けているが...
 介護保険のサービスは受けているが...

B 何か頼める支援はあるかな? 少しでもお願いできることがあるなら...
 何か頼める支援はあるかな? 少しでもお願いできることがあるなら...
 何か頼める支援はあるかな? 少しでもお願いできることがあるなら...
 何か頼める支援はあるかな? 少しでもお願いできることがあるなら...

C 今は支援は不要だけど、いずれ可能性はあるから不安はあるな...
 今は支援は不要だけど、いずれ可能性はあるから不安はあるな...
 今は支援は不要だけど、いずれ可能性はあるから不安はあるな...
 今は支援は不要だけど、いずれ可能性はあるから不安はあるな...

D 自分に介護支援は不要だけど、支援内容を把握していれば困っている同僚や部下にアドバイスできるかも!
 自分に介護支援は不要だけど、支援内容を把握していれば困っている同僚や部下にアドバイスできるかも!
 自分に介護支援は不要だけど、支援内容を把握していれば困っている同僚や部下にアドバイスできるかも!
 自分に介護支援は不要だけど、支援内容を把握していれば困っている同僚や部下にアドバイスできるかも!

支援の詳細は次ページ以降でご紹介いたします!
 女性医療人キャリア形成センター

介護支援詳細
 ちょこっと介護見守り支援 (※1)

アドバイザー
 提供会員
 依頼会員
 コーディネーター
 提供会員

アドバイザー: 女子医大に常駐しており、依頼会員・提供会員との調整を行ったり、利用に関するお問い合わせなどに対応しています。
 提供会員: いわゆる「支援をする人」です。「提供会員講習会」を修了し、認定を受けた方です。
 依頼会員: いわゆる「支援をお願いする人」です。本学教職員はどなたでも登録可能です。(※2)
 支援内容: 食事の準備や片付け、部屋の清掃や衣類の片付け、通院時や買い物時の付き添い、病院への薬の受け取り・受け渡しなど

※1 介護保険適用外のサポートになります。
 ※2 提供会員が支援可能な地域での支援となります。支援活動を行う地域や内容等をお問い合わせの上で支援可能地域が確認できます。届は、提供会員を確認する講習会を開催しており、支援可能地域は随時更新されています。

東京女子医科大学 介護サポート
 〒162-8666 新宿区河田町8-1
 東京女子医科大学 田女学生学生会館3階
 03-3353-8112 内線41361
 (直通)03-5312-5206

「今すぐ使いたい」という方以外にも相談やお問い合わせなどお気軽にご質問ください。
 女性医大・介護サポート ホームページはこちら

介護支援詳細
 相談窓口

本学では、介護に対する不安や、職場での介護支援に関して相談ができる窓口を設置しています。

人事課 (03-3353-8112 内線30113) 介護休暇・介護休業など
 医療福祉相談室ソーシャルワーカー (03-3353-8112 内線20175) 介護保険制度、社会資源など
 国や地域の介護保険制度、その他利用できる社会資源について知りたい!

入退院支援室 看護師 (03-3353-8112 内線20175) 在宅医療、介護サービス相談など
 在宅医療やそれに伴う介護サービスなどについて知りたい!

女性医療人キャリア形成センター 「ちょこっと介護見守り支援」に関するガイドブック配布
 ちょこっと介護見守り支援内容について知りたい! ガイドブックがほしい!

ガイドブック
 「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」 (2023年2月発行)
 掲載内容
 ◆ 全教職員対象に行った介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果
 ◆ 仕事と介護の両立に必要なポイント(「介護」の割合、勤務とのバランス等)
 ◆ 介護にかかる時間や費用
 ◆ 介護への不安を感じ始めた「エントリー期間」の過ごし方や準備
 ◆ 介護の体制を整える7つの行動
 ◆ 介護中の状況変化
 ◆ 東京女子医科大学の支援制度
 ◆ 介護への備え、管理職のための介護職員を出さない職場づくり
 ◆ 介護保険の基礎知識 など **無料配布**

その他
 介護講演会

介護にまつわるテーマの講演会を、教職員のニーズも踏まえながら定期的に開催します。
 例えば...
 介護と深く関わりのある「認知症」、介護と勤務を両立した教職員の体験談など
 開催情報は各HP(女性医療人キャリア形成センターHP、法人イントラ等)への掲載、およびメーリングリスト(下記参照)にご登録の皆様へのメール発信等でお知らせいたします。ご都合の都合をお待ちしております!

「YAYOIプロジェクト」情報発信メーリングリスト
 ※本学に在籍する女性医師等女性研究者対象 (産科以外の研究、看護、役職員、大学関係などを含む)
 「介護講演会」だけでなく、様々な研究支援や補助制度、各種セミナー等の情報をお知らせします。ご自分でHPを確認しなくても自動的に情報が届きますので、ぜひご利用ください。(無料)
 登録はこちらからお申し込みします
 登録できるメールアドレスは twmu.ac.jp のみとなります

◆お問い合わせ先◆
 女性医療人キャリア形成センター
 〒162-8666
 新宿区河田町8-1 総合研究棟1階
 03-3353-8112 内線30166
 cdc.br@twmu.ac.jp

◆ちよこっと介護説明会



ちよこっと介護説明会
ちよっと話を聞いてもらえる場所がありますよ
ZOOM で面談いたします
時間内にいつでも対応いたします
(日時は裏面参照)
介護でこんな悩みありませんか？
父は実家で一人暮らし、ちよっと心配
私が仕事をしている間、母の見守りや話し相手になってほしい等

ちよこっと介護でサポートできることを中心に一緒に考えていきます！

介護職あるいは自らも介護経験のある
専門スタッフが担当します。

私たちがアドバイザーです お気軽にご相談ください！

【お問い合わせ】
東京女子医科大学・介護サポート (面談室) 巴女子学生会館4階
東京女子医科大学・介護サポート (面談室) TEL: 03-3353-5206 (直通)
メールアドレス: kajin-support.bmf@twmu.ac.jp 内線 41364
受付先: NPO 法人 子育てネットワーク・サポート ホームページ

◆第1回介護講演会



第1回介護講演会
2月9日(木) 会場 Zoomによるオンライン講演会
17:00~18:30 参加 本学に在籍するすべての教職員

第一部 講演会
演者: 恩蔵 絢子 先生 脳科学者
テーマ: 「脳科学から見た認知症」

第二部 座談会
恩蔵 絢子 先生
松村 美由起 先生 成人医学センター講師
山内 典子 氏 八千代医療センター看護部看護師
下村 裕見子 氏 女性医療人キャリア形成センター課長付
司会: 本多 彩子 先生 解剖学(神経分子形態学)准教授 ダイバーシティ環境整備事業推進室長

NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」(初回放送日: 2023年1月7日)
ご出演の**恩蔵 絢子** 先生による講演会

プロフィール
脳科学者。
東京工業大学大学院総合理工学研究所知能システム科学専攻博士課程を修了、学術博士。
金城学院大学・早稲田大学・日本女子大学で、非常勤講師を務める。
著書に『脳科学者の母が、認知症になる』
訳書に『生きがい』(茂木健一郎著)、『顔の科学』(ジョナサン・コール著、茂木健一郎監訳)がある。

お申込み
お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail: cdd.bm@twmu.ac.jp
Tel: 03-3353-8112(内線30166)

お申し込みはこちらから
(受付締切2月8日)

◆女性研究者を支える男性研究者のための研究支援員制度



2022年度 男性医学研究者対象
研究支援員制度
利用者募集のお知らせ

募集期間
2022年4月1日~
2022年6月3日(必着)

研究支援員制度
研究者の指示の下で研究の補助作業を行う「研究支援員」を研究者1名につき1名配置することができます。配置できるのは1日4時間×週4日(16時間)が上限です。支援員の人員費は女性医療人キャリア形成センターが負担をします。

応募対象者
・子育て・介護等で時間の確保が難しい本学常勤の男性医学研究者(准教授以下)
・配偶者が大学の研究機関に所属している研究者またはフルタイムで就業している者
・単身者または配偶者がいない者

応募方法その他
女性医療人キャリア形成センターのHP上にある募集要項をご覧ください
(QRコードからも閲覧可能です)

問合せ先
女性医療人キャリア形成センター 研究支援員制度担当
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
MAIL: cdd.bm@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/w-support/>



2023年度 男性医学研究者対象
研究支援員制度
利用者募集のお知らせ

募集期間
2022年10月1日~
2022年12月2日(必着)

研究支援員制度
研究者の指示の下で研究の補助作業を行う「研究支援員」を研究者1名につき1名配置することができます。配置できるのは1日4時間×週4日(16時間)が上限です。支援員の人員費は女性医療人キャリア形成センターが負担をします。

応募対象者
子育て・介護等で時間の確保が難しい本学常勤の男性医学研究者(准教授以下)のうち
・配偶者が大学等の研究機関に所属している研究者またはフルタイムで就業している者
・単身者または配偶者がいない者

応募方法その他
女性医療人キャリア形成センターのHP上にある募集要項をご覧ください
(下記QRコードからも閲覧可能です)

問合せ先
女性医療人キャリア形成センター 女性医師・研究者支援部門
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
MAIL: cdd.bm@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/w-support/>

その他の活動

◆全国ダイバーシティネットワークへの参画

文部科学省と連携して女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む諸機関をつなぐ「全国ダイバーシティネットワーク」の東京ブロックに参画し、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開を図ることを目的とした活動を行っています。

- ・令和4(2022)年7月15日 第1回東京ブロック会議 メール会議
- ・令和4(2022)年9月1日 第2回東京ブロック会議 本多室長・下村課長付出席
- ・令和4(2022)年12月23日 第3回東京ブロック会議 本多室長・下村課長付出席

◆視察等

・令和4(2022)年9月28日、イタリア大臣（大学・研究担当）の本学に来校され、先端生命医科学研究所を見学されました。その際、大臣ならびにイタリア大使館科学技術担当に対し、女性医療人キャリア形成センター副センター長 齋藤加代子教授と本事業“バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化”担当責任者 石津綾子教授より、本事業を中心とする本学の女性医師・研究者支援について紹介を行いました。




・長野県松本保健福祉事務所・木曾保健福祉事務所より本学における女性研究者のキャリア形成支援や女性医師支援の取組についての視察依頼を受け、令和4(2022)年11月21日にZoomによるオンライン面会を実施しました。ダイバーシティ環境整備事業推進室 本多室長、女性医師・研究者支援部門 佐藤部門長、女性医師再研修部門 横田副部門長より、本事業を含む本学の女性医師のキャリア形成への取組について紹介しました。

お問い合わせ先一覧

●育児について (56 ページ)	ファミリーサポート室	人事課(院内保育所)
	03-5369-9075 または 03-3353-8112(内線 41152)	03-3353-8112 (内線 30114 または 30115)
	河田町 巴女子学生会館1階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●介護について (57 ページ)	介護サポート	人事課(介護相談窓口)
	03-5312-5206 または 03-3353-8112(内線 41361)	03-3353-8112 (内線 30111 または 30113)
	河田町 巴女子学生会館 3階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●上記以外の ダイバーシティ事業に ついて	女性医療人キャリア形成センター	センターHP 
	03-3353-8112(内線 30166)	
	cdc.bm@twmu.ac.jp	
	河田町 総合研究棟 1階	

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和4年度報告書

発行 令和5(2023)年3月
編集 ダイバーシティ環境整備事業推進室
(女性医療人キャリア形成センター)
MAIL cdc_bm@twmu.ac.jp
URL <http://www.twmu.ac.jp/gender/divercity/>



学校法人 東京女子医科大学

女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号

TEL : 03-3353-8112 (内線 30166)